

厚生労働科学研究費（長寿科学政策研究事業）
分担研究報告書

既存コホートの観察継続による訪問看護提供による効果、サービスの充実度の評価(研究3)

研究代表者	福井千絵	東京大学大学院医学系研究科	特任研究員
研究分担者	高岡茉奈美	東京大学大学院医学系研究科	特任研究員
	山本則子	東京大学大学院医学系研究科	教授
	新田國夫	医療法人社団つくし会	理事長 / 新田クリニック 院長

研究要旨

本研究では、2019年に開始した「地域で暮らす利用者・家族に対する訪問看護の効果を評価すること」を目的とした前向きコホート調査の36カ月後調査を実施した。訪問看護事業所、居宅介護支援事業所における75歳以上の利用者・家族への質問紙調査、事業所情報、職員情報（訪問看護師・介護支援専門員）、利用者情報に関する質問紙調査を縦断的に実施し、訪問看護の効果を検討した。

3年間の前向きコホート研究に基づく知見は主として以下のとおりである：訪問看護利用群は、非利用群に比べ、看取り・ターミナル期の利用者、医療処置を要する利用者が多かった。訪問看護利用群は、非利用群に比べ、①36カ月後調査時点の「生活に支障のない睡眠の確保」の問題事象発生割合が低く、②初回調査から36カ月後調査までの全時点における問題事象発生合計数に有意な差がなかった。訪問看護の利用により、加齢とともに心身機能が低下する中でも、希望するケアの実現、全身状態の悪化の予防につながる可能性が見出された。

A. 研究目的・背景

訪問看護は、地域包括ケアシステムにおける重要な医療資源の一つであり、その更なる発展が期待されている。訪問看護の発展を支える上で、質評価や質保証の枠組みを開発し、普及することが重要である。看護は対象者を全人的に捉え、そのウェルビーイングを追求するヒューマンサービスであり、多様な側面にアプローチする性質上、定量的な質評価が困難とされてきた。特に高齢者に対する訪問看護実践では、加齢により基本的に機能の低下してゆくことが予測される中で「良いケア」を同定しな

ければならない。さらに、機能低下が避けられないとしても、人としての尊厳や生活・生命の質（QOL）を保証してゆくことが重視され、疾患・症状管理に留まらない広範な領域への効果を検討する必要がある。

地域で暮らす利用者・家族に対する訪問看護の効果を検討するため、2019年より前向きコホート調査「ケア効果の可視化プロジェクト（VENUSプロジェクト）」を継続しており、令和4年度は36カ月後調査を実施した。本プロジェクトでは、全国の訪問看護事業所、居宅介護支援事業所におけ

る75歳以上の利用者・家族への質問紙調査、事業所情報、職員情報（訪問看護師・介護支援専門員）、利用者情報に関するウェブ調査を縦断的に実施している。訪問看護の効果を実証化するため、本プロジェクト内で開発した質指標（VENUS質指標）を用いている。

したがって、本研究の目的は、訪問看護利用群と非利用群における36カ月後時点の在宅療養高齢者の状態像、問題事象発生割合・合計数を比較し、訪問看護の効果を検討することとした。

B. 研究方法

1. 対象

訪問看護事業所19件、居宅介護支援事業所29件における75歳以上の利用者・家族を対象とした。

2. 調査方法

1) 調査期間およびデータ収集方法

本研究は、2019年に開始した在宅療養高

齢者への訪問看護の効果を検討することを目的とした前向きコホート調査（ケア効果の可視化プロジェクト：VENUSプロジェクト）^{1),2)}における、36カ月年後調査の継続によりデータを収集した。

VENUSプロジェクトでは、2019年9月から2022年3月までに、管理者・訪問看護師・介護支援専門員には全6回（初回、1カ月後、3カ月後、6カ月後、12カ月後、24カ月後）、利用者・家族には全4回（初回、3カ月後、12カ月後、24カ月後）の質問紙調査を実施した。調査期間中に利用者のサービス中断・終了されても、死亡が確認されるまで調査は継続された。

令和4年度においては、2022年9月から2023年3月にかけて、36カ月後時点の訪問看護事業所・居宅介護支援事業所の管理者への質問紙調査（事業所・管理者属性）、職員への質問紙調査（職員属性・利用者属性・VENUS質指標）、利用者・家族への質問紙調査を実施した（表1）。

36カ月後調査においては、24カ月後調査

表1. 36カ月後調査のフロー

		2019年 9月頃	2019年 10月頃	2020年 1月頃	2020年 3月頃	2020年 9月頃	2021年 9月頃	2022年 9月頃	2023年 9月頃
調査内容	回答者	初回調査	1カ月後	3カ月後	6カ月後	12カ月後	24カ月後	36カ月後	4年後
ケア 提供者情報	事業所・ 管理者属性	管理者	○	-※	-※	-※	○	○	○
	職員属性	職員	○	-	-	-	○	○	○※
利用者情報	利用者属性	職員	○	-※	-※	-※	○	○	○
長期ケアの 質の評価	長期ケアの 質指標	職員	○	○	○	○	○	○	○
	利用者・ 家族調査	利用者・ 家族	○	-	○	-	○	○	○

Note. ※変更があった場合のみ回答

で死亡が確認された場合、24カ月後調査・36カ月後調査ともに中断・終了が確認された場合は、調査終了とした（表2）。

2) 調査内容

管理者には事業所・管理者属性、訪問看護師・介護支援専門員には職員属性・利用者属性・VENUS質指標の回答を依頼した。利用者・家族には「利用者の療養生活上の主観的満足感」「家族の基本情報」「利用者の客観的QOL評価」「利用者の療養生活における家族の安心感」の回答を依頼した（表3）。

(1)利用者情報

年齢、事業所利用期間、直近の退院日からの期間、性別、居住形態、世帯構成、主介護者については初回調査で得た情報を用いた。主疾患、利用者の状態像、要介護度、障害高齢者日常生活自立度、介護・医療保険サービス、医療処置などは36カ月後調査時点で更新された情報を用いた。

(2)VENUS質指標（表4）

訪問看護の効果を評価には、当教室で開発したVENUS質指標を用いた。開発したVENUS質指標は、Long-term care（長期ケア）を受けている高齢者へのケアのアウトカム・プロセスを測定できる指標である。評価者は、訪問看護師や介護支援専門員などの医療・介護従事者とした。VENUS質指標の構造は、ドメイン8領域の下位にアウトカム項目が位置づけられており、各アウトカム項目はアウトカム指標・プロセス指標を有する。ドメインは看護アセスメント・ケアをする際の枠組み、アウトカム項目は在宅療養高齢者の望ましい状態とした。各アウトカム項目を達成できていない場合を問題事象発生ありと定義し、訪問看護の効果を問題事象発生の有無で評価した。

プロセス指標のアセスメント実施割合・ケア実施割合は、各ドメイン・アウトカム項目において、実施された項目数を全項目

表2. 36カ月後調査の調査内容

24カ月調査	36カ月調査	調査内容				
		事業所・ 管理者属性	職員属性	利用者 属性	長期ケア の質指標	利用者・ 家族調査
利用中	利用中	○	○	○	○	○
	中断・終了	○	○	○	○※	×
中断・終了	利用中	○	○	○	○	○
	中断・終了	○	○	×	×	×
死亡						

Note. ※アウトカム指標のみ尋ねた

数で割り、百分率で算出した。たとえば、アウトカム項目「社会的交流の確保」において、アセスメントが全4項目中2項目実施されていた場合は、実施されたアセスメント項目数2/全アセスメント項目数4×100=50.0%となる。全員回答必須の項目、必要時のみ回答する項目(◎)のそれぞれについて、アセスメント実施割合・ケア実施割合を算出した。

問題事象発生合計数は、0-19の範囲であり、合計数が大きいほど問題事象が多いことを示し、全身状態が悪いと考える。なお、「入院」「日常的な活動の維持」の問題事象発生については、定義の性質が異なるため(評価期間が異なる、2時点のデータにより評価する等)、除外した。なお、全6時点において、VENUS質指標に関するデータが1つでも欠落している対象者は分析から除外した。

(3)利用者の療養生活上の主観的満足感

利用者の療養生活上の主観的満足感は、「今の生活に満足している」「安心して過ごせている」「痛みや不快感なく過ごせている」「排泄に関して困っている」「今の状況で自分の希望する生き方を実現できている」の5項目について、0(全くそう思わない)から10(とてもそう思う)の間の数値で利用者本人から回答を得た。利用者の記入が難しい場合は、家族・訪問看護師・介護支援専門員のいずれかが聞き取りにより代理記入するよう依頼した。

(4)利用者の客観的QOL評価

利用者の客観的QOL評価は、岡山大学精神神経病態学教室老年精神疾患研究グル

ープが開発した認知症患者の客観的QOL評価票(短縮版)を用いた³⁾。「楽しそうである」「食事を楽しんでいる」「訪問者に対して嬉しそうにする」「周りの人が活動するのをみて楽しんでいる」「自分から人に話しかける」「仕事やレク活動について話をする」「怒りっぽい(逆転項目)」「ものを乱暴に扱う(逆転項目)」「大声で叫んだりする(逆転項目)」の9項目について、「見られない(1点)」「まれに見られる(2点)」「ときどき見られる(3点)」「よく見られる(4点)」で回答を得た(合計得点の範囲:9-36点)。回答者は、家族・訪問看護師・介護支援専門員のいずれかとした。

(5)利用者の療養生活における家族の安心感

利用者の療養生活における家族の安心感は、「地域のがん医療に関する安心感尺度」⁴⁾を参考に、「療養者の受けている治療や支援に安心している」「療養者はあまり苦痛を感じないで過ごせている」「私の心配事には十分に対処してもらっている」「色々なサービスがあるので安心だ」、「安心して自宅で療養できる」の5項目を作成し、「全くそう思わない(1点)」「あまりそう思わない(2点)」「どちらでもない(3点)」「ややそう思う(4点)」「大変そう思う(5点)」の5件法で家族から回答を得た(合計得点の範囲:5-25点)。

表 3. 36カ月後調査の調査枠組み

事業所情報	事業所属性	①開設主体 ②総利用者数（保険種別・要介護度別） ③前年度のサービス終了者数（理由別） ④常勤換算職員数	⑤認定看護師・専門看護師の人数 ⑥加算の届出状況 ⑦特別な医療処置等を必要とする利用者数 ⑧地域活動への参加状況 など
	管理者属性	①年齢・性別 ②就業形態 ③経験年数	④保有資格種類 ⑤認定・専門資格の有無・種類 ⑥最終学歴 など
職員情報	職員属性	①年齢・性別 ②職位・就業形態 ③経験年数	④保有資格種類・最終学歴 ⑤認定看護師資格の有無・種類 ⑥専門看護師資格の有無・種類 など
利用者情報	利用者属性	①サービス利用状況（サービス継続中・死亡・不明など）	
		①年齢・性別 ②訪問看護を使用する際の保険種別 ③居住形態・世帯構成 ④主介護者の続柄・就業状況 ⑤主疾患・副疾患	⑥要介護度・状態像・医療処置 ⑦利用開始日・直近の退院日 ⑨日常生活自立度（障害・認知症） ⑩過去1カ月の医療・介護サービス利用 ⑪過去1カ月の定期訪問以外の連絡回数など
長期ケアの質の評価	VENUS 質指標	1. 尊厳の追求 1)社会的交流の確保/孤独感の最小化 2)希望する生き方の実現 3)希望するケアの実現 4)活動制限の撤廃 2. 苦痛の最小化 5)疾患悪化予防/入院予防 6)尿路感染症予防 7)呼吸器感染症予防 8)褥瘡予防 9)呼吸困難への対処 10)疼痛への対処 3. 食生活の維持 11)栄養状態の保持	12)脱水予防 4. 排泄活動の維持 13)排泄活動の維持 5. 身体活動の維持 14)転倒転落による外傷の予防 15)日常的な活動の維持 16)寝床以外での活動の維持 6. 睡眠の確保 17)生活に支障がない睡眠の確保 7. 認知機能低下による生活障がい 18)認知機能低下による生活障がいの最小化 8. 家族のウェルビーイングの追求 19)家族のウェルビーイングの追求
	家族調査 利用者・	1. 利用者の療養生活上の主観的満足感 2. 利用者の客観的 QOL 評価	3. 家族の基本情報 4. 家族の療養生活に関する安心感

別添 4

表 4. VENUS質指標

ゴードンの機能的健康パターン	VENUS 質指標 ドメイン	VENUS 質指標 アウトカム項目	アウトカム指標	プロセス指標	
				アセスメント	ケア
1. 健康知覚／健康管理	(2) 苦痛の最小化	⑤疾患悪化予防/入院予防	2	7	8
		⑥尿路感染症予防	1	4	3
		⑦呼吸器感染症予防	1	6 (2)	6
		⑧褥瘡予防	1	4 (1)	5 (3)
		⑨呼吸困難への対処	1	1 (6)	0 (5)
		⑩疼痛への対処	1	1 (4)	0 (6)
2. 栄養／代謝	(3) 食生活の維持	⑪栄養状態の保持	1	8	2 (3)
		⑫脱水予防	1	4	2
3. 排泄	(4) 排泄行動の維持	⑬排泄活動の維持	1	3 (7)	9
4. 活動／運動	(5) 身体活動の維持	⑭転倒転落による外傷の予防	1	6	7
		⑮日常的な活動の維持	1	0	7
		⑯寝床以外での活動の維持	1	3	3
5. 睡眠／休息	(6) 睡眠の確保	⑰生活に支障のない睡眠の確保	1	6	0 (3)
6. 認知／知覚	(7) 認知機能低下による生活障がいの最小化	⑱認知機能低下による生活障がいの最小化	1	5	0 (5)
7. 自己知覚／自己概念	(1) 尊厳の保持	①社会的交流の確保/孤独感の最小化	2	4	0 (3)
8. 役割／関係		②希望する生き方の実現	1	4	6
9. 性 (セクシュアリティ) /生殖		③希望するケアの実現	1	5	5
10. コーピング／ストレス耐性		④活動制限の撤廃	1	0 (3)	0 (2)
11. 価値／信念					
	(8) 家族のウェルビーイングの追求	⑲家族のウェルビーイングの追求	1	7	3
設問数			21	78 (23)	66 (30)

Note. プロセス指標の () 内は必要な場合のみ回答する設問数
 介護支援専門員が評価者の場合、アウトカム指標のみ

3) データ分析方法

まず、初回調査、1・3・6・12・24・36カ月後時点の転帰について記述統計量を算出した。

次に、訪問看護利用群・非利用群における利用者の基本属性（表5）、問題事象発生割合（表6）、問題事象発生合計数（表7,図1）、アセスメント実施割合・ケア実施割合（表8）、家族の基本属性（表9）、利用者の主観的満足度（表10）、利用者の客観的QOL（表11）、家族の安心感（表12）の記述統計量をそれぞれ算出した。

訪問看護利用群と非利用群の利用者の基本属性、家族の基本属性の差を検討するため、カイ二乗検定またはマンホイットニーのU検定または独立したサンプルのt検定を用いた。

訪問看護利用群と非利用群の問題事象発生割合の差を検討するため、カイ二乗検定を用いた。各調査時点・両群における問題事象発生合計数の平均値の差を検討するため、独立したサンプルのt検定を用いた。

適切と考えられる看護実践プロセスの実施状況（アセスメント・ケア）を把握するため、アセスメント実施割合・ケア実施割合をアウトカム項目毎（表8-1,2）・プロセス項目毎（表8-3,4,5,6,7,8）に算出した。

利用者の主観的満足度、利用者の客観的QOL、家族の安心感の平均値の差を検討するため、独立したサンプルのt検定を用いた。

4) 倫理的配慮

東京大学大学院医学系研究科・医学部倫

理委員会の承認を受けて、実施された（No.2019087NI）。なお、研究参加者には、オプトアウトにて本研究への参加拒否の機会が与えられた。

C. 研究結果

本研究では、2023年3月1日までにデータ収集が完了した36カ月後調査336名（訪問看護利用群269名、非利用群67名）について報告する。36カ月後調査時点の転帰は、在宅継続200名、入院・入所等によりサービスを中断・終了している者118名、在宅死亡18名であった。

(1)利用者情報（表5）

36カ月後時点の調査参加者336名のうち、回答者が訪問看護師以外（理学療法士など）である11名のデータを除き、転帰のみを回答したデータは51名、利用者属性の回答を完了したデータは274名（訪問看護利用群218名、非利用群56名）であった。

訪問看護利用群では、主疾患は「心不全」が45名（19.7%）と最も多く、次いで「認知症」が35名（16.1%）、「がん」が28名（12.8%）、「脳血管疾患」が25名（11.5%）であった。非利用群では、主疾患は「認知症」が24名（42.9%）と最も多く、「脳血管疾患」が12名（21.4%）、「心不全」が6名（10.7%）、「がん」が2名（3.6%）であった。訪問看護利用群は、非利用群に比べ、「認知症」の割合が少なく（ $p < .001$ ）、「がん」が多かった（ $p = 0.047$ ）。

利用者の状態像が「病態・症状の安定期」の利用者は、訪問看護利用群145名

(66.5%)、非利用群43名(51.8%)であった($p = 0.095$)。「看取り期・ターミナル期」の利用者は、訪問看護利用群30名(13.8%)、非利用群0名(0%)であった($p = 0.004$)。

障害高齢者日常生活自立度が「準寝たきりA」の利用者は、訪問看護利用群では、76名(34.9%)と最も多く、次いで「生活自立J」が51名(23.4%)であった。非利用群では、「準寝たきりA」が30名(53.6%)と最も多く、次いで「寝たきりB」が10名(17.9%)であった。

医療処置が「なし」の利用者は、訪問看護利用群142名(65.1%)、非利用53名(94.6%)であった($p < .001$)。

(2-2)VENUS質指標-問題事象発生合計数(表7, 図1)

初回調査から36カ月後調査までの全6時点における問題事象発生合計数の推移を示すため、全6時点においてVENUS質指標を回答している243件(訪問看護利用群194名、非利用群47名)のデータを分析の対象とした。

初回調査時点における問題事象発生合計数は、訪問看護利用群3.3(標準偏差2.2)、非利用群2.8(標準偏差2.4)であった($p = 0.196$)。

36カ月後時点における問題事象発生合計数は、訪問看護利用群4.4(標準偏差3.4)、非利用群4.4(標準偏差4.4)であった($p = 0.901$)。

(2-1)VENUS質指標-問題事象発生割合(表6)

36カ月後調査時点において、訪問看護利

用群は、非利用群に比べ、「生活に支障のない睡眠の確保」の問題事象発生割合が低かった($p = 0.049$)。

(2-3)VENUS質指標-プロセス指標(表8)

全員回答必須のアセスメントのうち、全6時点において、最も実施割合が高いアセスメント領域は、アウトカム項目5)疾患悪化予防(87.6-93.4%)であった。反対に、最も実施割合が低いアセスメント領域は、アウトカム項目8)褥瘡予防(26.3-37.7%)であった。

全員回答必須のケア項目のうち、最も実施割合が高いケア領域は、アウトカム項目19)家族のウェルビーイングの追求(55.0-65.1%)であった。反対に、最も実施割合が低いケア領域は、アウトカム項目11)栄養状態の保持(3.4-7.5%)であった。

(3)家族の基本属性(表9)

平均年齢は70.3歳(標準偏差12.1)、男性26.1%、主介護者92.4%、利用者との続柄は実の息子・娘48.9%であった。

(4)利用者の療養生活上の主観的満足感(表10)

利用者の療養生活上の主観的満足感の5項目は、訪問看護の利用と関連しなかった。

(5)利用者の客観的QOL評価(表11)

利用者の客観的QOL評価(合計得点)は、訪問看護利用群では平均27.1点(標準偏差5.4)、非利用群では平均29.3点(標準偏差5.0)であった($p = 0.030$)。

(6)利用者の療養生活における家族の安心感(表12)

利用者の療養生活における家族の安心感（合計得点）は、訪問看護利用群では平均20.6点（標準偏差3.4）、非利用群では平均21.9点（標準偏差3.2）であった（ $p = 0.118$ ）。

考察

本研究では、2019年に開始した「地域で暮らす利用者・家族に対する訪問看護の効果を評価すること」を目的とした前向きコホート調査の36カ月後調査を実施した。

36カ月後調査時点の在宅療養者547名の転帰は、在宅継続336名、入院・入所等によりサービスを中断・終了している者173名、在宅死亡38名であった。要介護高齢者がたどる多様な経過の中で、①医療機関等からの退院・退所後に希望する療養の場に円滑に移行できたか、②在宅での療養生活を継続しQOLの維持向上が図れているか、③希望する場所での看取りを支援し実現できていたか等に注目し、要介護高齢者への訪問看護提供による効果を検討する必要がある。

本研究の分析対象者は、訪問看護利用群392名、非利用群84名であった。利用者の状態像が「病態・症状の安定期」の利用者は、訪問看護利用群145名（66.5%）、非利用群43名（51.8%）であり、医療処置が「なし」の利用者は、訪問看護利用群142名（65.1%）、非利用53名（94.6%）であった。訪問看護利用群は、非利用群に比べ、状態像が不安定であり、医療ニーズが高かった。

36カ月後調査の問題事象発生割合は、訪

問看護利用群は、非利用群に比べ、「生活に支障のない睡眠の確保」の問題事象発生割合が低かった。各調査時点の問題事象発生合計数の比較において、全時点における訪問看護利用群・非利用群に有意な差はなかった。

訪問看護利用群は、非利用群に比べ、状態像が不安定であり、医療ニーズが高いものの、各調査時点の問題事象発生合計数の比較において、全時点における訪問看護利用群・非利用群に有意な差はなかったことから、訪問看護の利用により、希望するケアが実現でき、加齢とともに心身機能が低下する中でも、全身状態の悪化の予防につながる可能性が見出された。

D. 結論

多面的なVENUS質指標を用いて、3年間の縦断データを収集した。訪問看護の利用により、加齢とともに心身機能が低下する中でも、「生活に支障のない睡眠の確保」の問題事象発生割合が低かった（ $p = 0.049$ ）。

生活に支障のない睡眠の確保、全身状態の悪化の予防につながる可能性が見出された。より長期的な訪問看護の効果を検討するため、48カ月後調査を継続していく。

文献

- 1) 山本則子（研究代表者）. 要介護高齢者等に対する介護介入による効果検証事業. 令和2年度 厚生労働省老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業. 2021年.
- 2) Fukui C, Igarashi A, Noguchi-Watanabe M, Sakka M, Naruse T, Kitamura S, Inagaki A,

Takaoka M, Yasaka T, Kobayashi H, Yamamoto-Mitani N. Development of Quality Indicators for Evaluating the Quality of Long-term Care. *Geriatrics & Gerontology International*. 2021 Feb 14.

- 3) Terada S, Oshima E, Ikeda C, Hayashi S, Yokota O, Uchitomi Y. (2015). Development and evaluation of a short version of the quality of life questionnaire for dementia. *International psychogeriatrics*, 27(1), 103-110.
- 4) Igarashi A, Miyashita M, Morita T, Akizuki N, Akiyama M, Shirahige Y, Eguchi K. (2012). A scale for measuring feelings of support and security regarding cancer care in a region of Japan: a potential new endpoint of cancer care. *Journal of pain and symptom management*, 43(2), 218-225.

表5-1. 利用者の基本属性

	全体 n = 274		訪問看護利用群 n = 218		訪問看護非利用群 n = 56		p 値 a)
	平均 ± 標準偏差 [範囲]		平均 ± 標準偏差 [範囲]		平均 ± 標準偏差 [範囲]		
年齢	84.3 ± 6.4	[75-101]	84.4 ± 6.3	[75-101]	84.3 ± 6.7	[75-99]	0.948
当該事業所の利用期間 (日) b)	978.3 ± 1131.9	[0-6764]	894.0 ± 921.8	[6-5591]	1310.5 ± 1670.0	[0-6764]	0.085
直近の退院日からの期間 (日) c)	411.3 ± 442.5	[1-2450]	432.7 ± 472.4	[1-2450]	323.8 ± 278.7	[5-1130]	0.100

Note. 初回調査時点のデータを用いて算出した, a) 独立したサンプルのt検定, b) 2000年以前のデータを除外した (n = 272),
c) 訪問看護利用群 n = 127, 非利用群 n = 31

表5-2. 利用者の基本属性

		全体 n = 274	訪問看護 利用群 n = 218	訪問看護 非利用群 n = 56	p 値
		n (%)	n (%)	n (%)	
性別	男性	110 (40.1)	90 (41.3)	20 (35.7)	0.448 a)
居住形態	自宅	263 (96.0)	207 (95.0)	56 (100.0)	0.086 a)
世帯構成	それ以外	128 (46.7)	91 (41.7)	37 (66.1)	0.001 a)
	利用者と配偶者の夫婦二人	77 (28.1)	65 (29.8)	12 (21.4)	0.213 a)
	独居	69 (25.2)	62 (28.4)	7 (12.5)	0.014 a)
主介護者	子	111 (40.5)	80 (36.7)	31 (55.4)	0.011 a)
	配偶者	101 (36.9)	84 (38.5)	17 (30.4)	0.258 a)
	いない	34 (12.4)	33 (15.1)	1 (1.8)	0.007 a)
	子の配偶者	20 (7.3)	14 (6.4)	6 (10.7)	0.271 a)
	それ以外	8 (2.9)	7 (3.2)	1 (1.8)	0.572 a)
要介護度	なし (申請中など)	8 (2.9)	6 (2.8)	2 (3.6)	0.080 b)
	要支援 1	6 (2.2)	5 (2.3)	1 (1.8)	
	要支援 2	23 (8.4)	19 (8.7)	4 (7.1)	
	要介護 1	51 (18.6)	38 (17.4)	13 (23.2)	
	要介護 2	53 (19.3)	36 (16.5)	17 (30.4)	
	要介護 3	51 (18.6)	41 (18.8)	10 (17.9)	
	要介護 4	40 (14.6)	36 (16.5)	4 (7.1)	
	要介護 5	42 (15.3)	37 (17.0)	5 (8.9)	
障害高齢者	生活自立 J	62 (22.6)	51 (23.4)	11 (19.6)	0.223 b)
日常生活自立度	準寝たきり A	106 (38.7)	76 (34.9)	30 (53.6)	
	寝たきり B	64 (23.4)	54 (24.8)	10 (17.9)	
	寝たきり C	42 (15.3)	37 (17.0)	5 (8.9)	
認知症高齢者	なし	38 (13.9)	31 (14.2)	7 (12.5)	0.956 b)
日常生活自立度	I	51 (18.6)	44 (20.2)	7 (12.5)	
	II	68 (24.8)	50 (22.9)	18 (32.1)	
	III	63 (23.0)	46 (21.1)	17 (30.4)	
	IV	47 (17.2)	40 (18.3)	7 (12.5)	
	M	2 (0.7)	2 (0.9)	0 (0.0)	
	不明	5 (1.8)	5 (2.3)	0 (0.0)	
利用者の状態像	0				
	病態・症状の安定期	188 (68.6)	145 (66.5)	43 (51.8)	0.095 a)
	病態・症状の不安定期	54 (19.7)	42 (19.3)	12 (14.5)	0.671 a)
	看取り期・ターミナル期	30 (10.9)	30 (13.8)	0 (0.0)	0.004 a)
	その他	1 (0.4)	1 (0.5)	0 (0.0)	0.615 a)
	不明	1 (0.4)	0 (0.0)	1 (1.2)	

Note. 性別・居住形態・世帯構成・主介護者については初回調査時点のデータを用いた, a) カイ二乗検定,
b) マンホイットニーのU検定

表5-3. 利用者の基本属性

	全体	訪問看護 利用群	訪問看護 非利用群	p 値 a)
	n = 274 n (%)	n = 218 n (%)	n = 56 n (%)	
主疾患				
認知症	59 (21.5)	35 (16.1)	24 (42.9)	<.001
心不全	49 (17.9)	43 (19.7)	6 (10.7)	0.117
脳血管疾患	37 (13.5)	25 (11.5)	12 (21.4)	0.052
がん	30 (10.9)	28 (12.8)	2 (3.6)	0.047
神経難病	21 (7.7)	19 (8.7)	2 (3.6)	0.197
消化器疾患	18 (6.6)	16 (7.3)	2 (3.6)	0.745
COPD (肺気腫・慢性気管炎を含む)	12 (4.4)	10 (4.6)	2 (3.6)	0.740
筋骨格系疾患 (頸部脊柱管狭窄症・脊椎損傷)	8 (2.9)	6 (2.8)	2 (3.6)	0.589
腎機能障害 (腎不全・腎炎)	8 (2.9)	7 (3.2)	1 (1.8)	0.572
心不全以外の循環器系疾患 (解離性大動脈瘤・高血圧症)	7 (2.6)	6 (2.8)	1 (1.8)	0.683
精神疾患 (認知症除く)	6 (2.2)	6 (2.8)	0 (0.0)	0.209
糖尿病	5 (1.8)	5 (2.3)	0 (0.0)	0.310
自己免疫疾患 (多発性筋炎・リウマチ・強皮症)	4 (1.5)	4 (1.8)	0 (0.0)	0.307
大腿骨頸部骨折	4 (1.5)	2 (0.9)	2 (3.6)	0.140
その他	3 (1.1)	3 (1.4)	0 (0.0)	0.377
肺炎	2 (0.7)	2 (0.9)	0 (0.0)	0.472
難治性皮膚潰瘍 (褥瘡・慢性下肢潰瘍・皮膚病)	1 (0.4)	1 (0.5)	0 (0.0)	0.612
大腿骨頸部骨折以外の骨折 (腰椎圧迫骨折・仙骨骨折)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	N.A.

Note. a) カイ二乗検定

表5-4. 利用者の基本属性

	全体	訪問看護 利用群	訪問看護 非利用群	p 値 a)
	n = 274 n (%)	n = 218 n (%)	n = 56 n (%)	
医療処置(複数回答可)				
なし	195 (71.2)	142 (65.1)	53 (94.6)	<.001
介護保険サービス(複数回答可)				
福祉用具貸与・特定福祉用具販売	127 (46.4)	94 (43.1)	33 (58.9)	0.034
通所介護	110 (40.1)	68 (31.2)	42 (75.0)	<.001
訪問介護	88 (32.1)	73 (33.5)	15 (26.8)	0.338
通所リハビリテーション	32 (11.7)	28 (12.8)	4 (7.1)	0.236
短期入所生活・療養介護	32 (11.7)	21 (9.6)	11 (19.6)	0.037
訪問リハビリテーション	31 (11.3)	25 (11.5)	6 (10.7)	0.874
居宅療養管理指導	30 (10.9)	25 (11.5)	5 (8.9)	0.587
訪問入浴介護	26 (9.5)	26 (11.9)	0 (0.0)	0.007
その他	6 (2.2)	4 (1.8)	2 (3.6)	0.428
利用なし	9 (3.3)	9 (4.1)	0 (0.0)	0.122
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	8 (2.9)	8 (3.7)	0 (0.0)	0.146
看護小規模多機能・小規模多機能型居宅介護	5 (1.8)	4 (1.8)	1 (1.8)	0.980
夜間対応型訪問介護	1 (0.4)	1 (0.5)	0 (0.0)	0.612
医療保険サービス(複数回答可)				
外来通院	121 (44.2)	87 (39.9)	34 (60.7)	0.006
訪問診療	86 (31.4)	76 (34.9)	10 (17.9)	0.014
利用なし	40 (14.6)	29 (13.3)	11 (19.6)	0.236
往診	21 (7.7)	21 (9.6)	0 (0.0)	0.203
薬剤師の訪問	14 (5.1)	13 (6.0)	1 (1.8)	0.015
訪問リハビリテーション	10 (3.6)	9 (4.1)	1 (1.8)	0.208
訪問歯科	6 (2.2)	6 (2.8)	0 (0.0)	0.402
その他	2 (0.7)	2 (0.9)	0 (0.0)	0.471
医療機関のリハビリテーション (外来等)	2 (0.7)	2 (0.9)	0 (0.0)	0.471

Note. a) カイ二乗検定

表6-1. 問題事象発生割合の推移 (VENUS質指標 - アウトカム指標)

	初回調査			1カ月後			3カ月後			6カ月後		
	訪問看護 利用群	訪問看護 非利用群	p値	訪問看護 利用群	訪問看護 非利用群	p値	訪問看護 利用群	訪問看護 非利用群	p値	訪問看護 利用群	訪問看護 非利用群	p値
	(n=194)	(n=47)		(n=194)	(n=47)		(n=194)	(n=47)		(n=194)	(n=47)	
n (%)	n (%)		n (%)	n (%)		n (%)	n (%)		n (%)	n (%)		
ドメイン1：尊厳の追及												
1-1) 社会的交流の確保	121 (62.4)	20 (42.6)	0.013	103 (53.1)	17 (36.2)	0.037	103 (53.1)	14 (29.8)	0.004	107 (55.2)	25 (53.2)	0.808
1-2) 社会的交流の確保-孤独感	35 (18.0)	8 (17.0)	0.870	35 (18.0)	5 (10.6)	0.221	26 (13.4)	6 (12.8)	0.908	25 (12.9)	2 (4.3)	0.092
2) 希望する生き方の実現	20 (10.3)	5 (10.6)	0.947	12 (6.2)	3 (6.4)	0.960	18 (9.3)	3 (6.4)	0.528	18 (9.3)	4 (8.5)	0.870
3) 希望するケアの実現	40 (20.6)	19 (40.4)	0.005	44 (22.7)	20 (42.6)	0.006	43 (22.2)	18 (38.3)	0.022	48 (24.7)	17 (36.2)	0.113
4) 活動制限の撤廃	5 (2.6)	1 (2.1)	0.859	2 (1.0)	0 (0.0)	0.485	6 (3.1)	2 (4.3)	0.690	5 (2.6)	0 (0.0)	0.266
ドメイン2：苦痛の最小化												
5-1) 疾患悪化予防-疾患悪化	27 (13.9)	4 (8.5)	0.321	20 (10.3)	6 (12.8)	0.626	26 (13.4)	5 (10.6)	0.612	28 (14.4)	6 (12.8)	0.768
5-2) 疾患悪化予防-過去30日間の入院 a)	12 (6.2)	3 (6.4)	0.960	6 (3.1)	2 (4.3)	0.690	13 (6.7)	3 (6.4)	0.937	10 (5.2)	3 (6.4)	0.738
6) 尿路感染症予防	5 (2.6)	1 (2.1)	0.859	6 (3.1)	1 (2.1)	0.724	9 (4.6)	1 (2.1)	0.439	7 (3.6)	3 (6.4)	0.392
7) 呼吸器感染症予防	2 (1.0)	0 (0.0)	0.485	1 (0.5)	1 (2.1)	0.274	6 (3.1)	1 (2.1)	0.724	5 (2.6)	0 (0.0)	0.266
8) 褥瘡予防	32 (16.5)	8 (17.0)	0.931	23 (11.9)	5 (10.6)	0.815	29 (14.9)	5 (10.6)	0.446	25 (12.9)	7 (14.9)	0.716
9) 呼吸困難への対処	5 (2.6)	0 (0.0)	0.266	5 (2.6)	0 (0.0)	0.266	10 (5.2)	3 (6.4)	0.738	5 (2.6)	2 (4.3)	0.539
10) 疼痛への対処	26 (13.4)	3 (6.4)	0.185	19 (9.8)	5 (10.6)	0.862	18 (9.3)	5 (10.6)	0.776	17 (8.8)	3 (6.4)	0.596
ドメイン3：食生活の維持												
11) 栄養状態の保持	20 (10.3)	5 (10.6)	0.947	10 (5.2)	8 (17.0)	0.005	22 (11.3)	4 (8.5)	0.575	21 (10.8)	6 (12.8)	0.705
12) 脱水の予防	9 (4.6)	1 (2.1)	0.439	3 (1.5)	2 (4.3)	0.242	7 (3.6)	1 (2.1)	0.611	8 (4.1)	1 (2.1)	0.517
ドメイン4：排泄活動の維持												
13) 排泄活動の維持	111 (57.2)	24 (51.1)	0.446	101 (52.1)	19 (40.4)	0.152	104 (53.6)	25 (53.2)	0.959	110 (56.7)	24 (51.1)	0.485
ドメイン5：身体活動の維持												
14) 転倒転落による外傷の予防	16 (8.2)	6 (12.8)	0.335	3 (1.5)	2 (4.3)	0.242	8 (4.1)	1 (2.1)	0.517	13 (6.7)	3 (6.4)	0.937
15) 日常的な活動の維持 b)	N.A.	N.A.	N.A.	40 (20.6)	16 (34.0)	0.086	47 (24.2)	16 (34.0)	0.310	47 (24.2)	15 (31.9)	0.453
16) 寝床以外の活動の維持	20 (10.3)	1 (2.1)	0.074	20 (10.3)	4 (8.5)	0.712	25 (12.9)	3 (6.4)	0.212	32 (16.5)	5 (10.6)	0.318
ドメイン6：睡眠の確保												
17) 生活に支障のない睡眠の確保	70 (36.1)	10 (21.3)	0.053	46 (23.7)	6 (12.8)	0.102	47 (24.2)	10 (21.3)	0.669	50 (25.8)	13 (27.7)	0.792
ドメイン7：認知機能低下による生活障がい最小化												
18) 認知機能低下による生活障がいの最小化	48 (24.7)	8 (17.0)	0.261	29 (14.9)	5 (10.6)	0.446	30 (15.5)	11 (23.4)	0.194	37 (19.1)	11 (23.4)	0.505
ドメイン8：家族のウェルビーイングの追求												
19) 家族のウェルビーイングの追求	20 (10.3)	7 (14.9)	0.371	18 (9.3)	3 (3.6)	0.528	13 (6.7)	6 (7.2)	0.166	22 (11.3)	7 (8.4)	0.502

Note. カイ二乗検定, a) 初回時点では過去30日間の入院、12・24・36カ月時点では過去1年間の有無を尋ねた, b) 2地点のデータを用いて算出するため、初回調査はデータなし、欠損値は除外した

表6-2. 問題事象発生割合の推移 (VENUS質指標 - アウトカム指標)

	12カ月後			24カ月後			36カ月後		
	訪問看護 利用群 (n=194)	訪問看護 非利用群 (n=47)	p値	訪問看護 利用群 (n=194)	訪問看護 非利用群 (n=47)	p値	訪問看護 利用群 (n=194)	訪問看護 非利用群 (n=47)	p値
	n (%)	n (%)		n (%)	n (%)		n (%)	n (%)	
ドメイン1：尊厳の追及									
1-1) 社会的交流の確保	110 (56.7)	25 (53.2)	0.664	114 (58.8)	25 (53.2)	0.488	117 (60.3)	23 (48.9)	0.156
1-2) 社会的交流の確保-孤独感	33 (17.0)	6 (12.8)	0.478	31 (16.0)	6 (12.8)	0.583	41 (21.1)	7 (14.9)	0.336
2) 希望する生き方の実現	15 (7.7)	4 (8.5)	0.859	22 (11.3)	6 (12.8)	0.784	25 (12.9)	6 (12.8)	0.982
3) 希望するケアの実現	48 (24.7)	14 (29.8)	0.478	45 (23.2)	20 (42.6)	0.007	48 (24.7)	18 (38.3)	0.062
4) 活動制限の撤廃	1 (0.5)	1 (2.1)	0.274	2 (1.0)	2 (4.3)	0.121	18 (9.3)	3 (6.4)	0.528
ドメイン2：苦痛の最小化									
5-1) 疾患悪化予防-疾患悪化	18 (9.3)	1 (2.1)	0.103	35 (18.0)	4 (8.5)	0.111	43 (22.2)	8 (17.0)	0.439
5-2) 疾患悪化予防-過去30日間の入院 a)	35 (18.0)	10 (21.3)	0.610	31 (16.0)	6 (12.8)	0.583	50 (25.8)	13 (27.7)	0.792
6) 尿路感染症予防	6 (3.1)	0 (0.0)	0.222	8 (4.1)	4 (8.5)	0.215	25 (12.9)	3 (6.4)	0.212
7) 呼吸器感染症予防	2 (1.0)	0 (0.0)	0.485	5 (2.6)	4 (8.5)	0.054	15 (7.7)	7 (14.9)	0.126
8) 褥瘡予防	39 (20.1)	6 (12.8)	0.247	34 (17.5)	7 (14.9)	0.667	49 (25.3)	11 (23.4)	0.792
9) 呼吸困難への対処	3 (1.5)	2 (4.3)	0.242	5 (2.6)	3 (6.4)	0.191	14 (7.2)	6 (12.8)	0.216
10) 疼痛への対処	12 (6.2)	2 (4.3)	0.612	24 (12.4)	5 (10.6)	0.743	29 (14.9)	9 (19.1)	0.478
ドメイン3：食生活の維持									
11) 栄養状態の保持	16 (8.2)	3 (6.4)	0.670	19 (9.8)	5 (10.6)	0.862	47 (24.2)	12 (25.5)	0.852
12) 脱水の予防	3 (1.5)	2 (4.3)	0.242	7 (3.6)	1 (2.1)	0.611	25 (12.9)	7 (14.9)	0.716
ドメイン4：排泄活動の維持									
13) 排泄活動の維持	104 (53.6)	24 (51.1)	0.754	117 (60.3)	26 (55.3)	0.532	119 (61.3)	24 (51.1)	0.198
ドメイン5：身体活動の維持									
14) 転倒転落による外傷の予防	13 (6.7)	5 (10.6)	0.357	12 (6.2)	4 (8.5)	0.566	25 (12.9)	6 (12.8)	0.982
15) 日常的な活動の維持 b)	50 (25.8)	18 (38.3)	0.191	68 (35.1)	25 (53.2)	0.093	69 (35.6)	1 (2.1)	0.272
16) 寝床以外の活動の維持	35 (18.0)	1 (2.1)	0.006	30 (15.5)	4 (8.5)	0.219	45 (23.2)	9 (19.1)	0.551
ドメイン6：睡眠の確保									
17) 生活に支障のない睡眠の確保	47 (24.2)	12 (25.5)	0.852	64 (33.0)	20 (42.6)	0.217	65 (33.5)	23 (48.9)	0.049
ドメイン7：認知機能低下による生活障がい最小化									
18) 認知機能低下による生活障がいの最小化	38 (19.6)	10 (21.3)	0.795	46 (23.7)	12 (25.5)	0.793	61 (31.4)	15 (31.9)	0.950
ドメイン8：家族のウェルビーイングの追求									
19) 家族のウェルビーイングの追求	14 (7.2)	9 (10.8)	0.012	18 (9.3)	9 (10.8)	0.054	35 (18.0)	12 (14.5)	0.245

Note. カイ二乗検定, a) 初回時点では過去30日間の入院、12・24・36カ月時点では過去1年間の有無を尋ねた, b) 2地点のデータを用いて算出するため、初回調査はデータなし、欠損値は除外した

表7. 問題事象発生合計数（VENUS質指標 - アウトカム指標）

	n (%)	初回		1か月後		3か月後		6か月後		12か月後		24か月後		36か月後	
		平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
訪問看護利用群	194 (80.5)	3.3	±2.2	2.6	±1.8	2.8	±2.0	3.0	±2.3	2.9	±2.1	3.3	±2.3	4.4	±3.4
非利用群	47 (19.5)	2.8	±2.4	2.4	±2.2	2.6	±2.5	3.0	±2.6	2.7	±2.2	3.6	±3.2	4.4	±4.4
p値 a)		0.196		0.534		0.563		0.902		0.620		0.591		0.901	

Note. a) 独立したサンプルのt検定

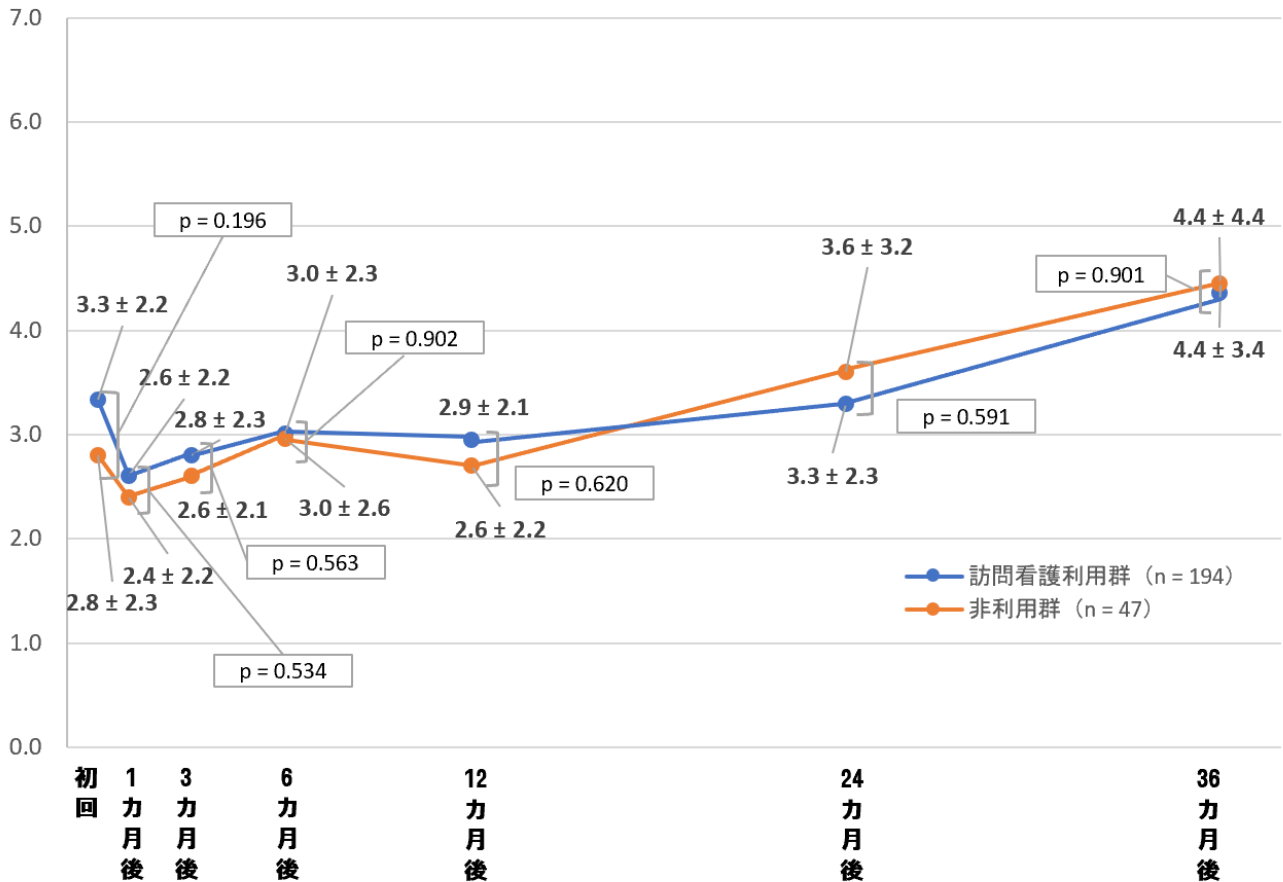


図1. 問題事象発生合計数の推移（VENUS質指標 - アウトカム指標）

Note. 訪問看護利用群・非利用群における問題事象発生合計数の平均値の差は独立したサンプルのt検定, 全6時点において、データが1つでも欠落している対象者は分析から除外した

別添4

表8-1. VENUS質指標-プロセス指標 アウトカム項目毎実施割合・ケア実施割合

ドメイン1. 尊厳の追求	初回調査			1か月調査			3か月調査			6か月調査			12か月調査			24か月調査			36か月調査		
	平均値(%)	標準偏差	範囲	平均値(%)	標準偏差	範囲	平均値(%)	標準偏差	範囲	平均値(%)	標準偏差	範囲	平均値(%)	標準偏差	範囲	平均値(%)	標準偏差	範囲	平均値(%)	標準偏差	範囲
アウトカム項目1) 社会的交流の確保/孤独感																					
アセスメント実施割合	52.1	38.3	0 - 100	57.9	38.2	0 - 100	60.2	38.2	0 - 100	59.3	41.3	0 - 100	56.0	39.8	0 - 100	52.4	39.7	0 - 100	51.0	38.7	0 - 100
ケア実施割合◎	20.2	26.2	0 - 100	21.5	23.3	0 - 100	20.3	24.4	0 - 100	21.0	28.5	0 - 100	21.8	27.1	0 - 100	20.1	21.3	0 - 100	24.3	27.3	0 - 100
アウトカム項目2) 希望する生き方の実現																					
アセスメント実施割合	64.4	34.3	0 - 100	70.1	35.4	0 - 100	70.3	35.7	0 - 100	69.9	36.6	0 - 100	65.3	36.1	0 - 100	68.5	33.4	0 - 100	66.5	37.3	0 - 100
ケア実施割合	47.6	30.5	0 - 100	47.2	33.5	0 - 100	51.3	33.4	0 - 100	49.2	34.2	0 - 100	46.1	33.8	0 - 100	45.2	31.3	0 - 100	50.0	33.4	0 - 100
アウトカム項目3) 希望するケアの実現																					
アセスメント実施割合	57.1	34.9	0 - 100	61.0	37.5	0 - 100	63.3	36.8	0 - 100	64.6	37.3	0 - 100	60.2	37.9	0 - 100	58.6	37.5	0 - 100	59.7	38.2	0 - 100
ケア実施割合	53.6	35.3	0 - 100	53.3	37.1	0 - 100	53.3	37.0	0 - 100	50.1	38.4	0 - 100	44.5	36.8	0 - 100	45.4	34.5	0 - 100	51.4	36.4	0 - 100
アウトカム項目4) 活動制限の撤廃																					
アセスメント実施割合◎	75.0	50.0	0 - 100	100.0	0.0	100 - 100	75.0	50.0	0 - 100	100.0	0.0	100 - 100	0.0	0.0	0 - 0	100.0	0.0	100 - 100	81.0	17.8	66.7 - 100
ケア実施割合◎	75.0	50.0	0 - 100	100.0	0.0	100 - 100	75.0	50.0	0 - 100	50.0	0.0	50 - 50	0.0	0.0	0 - 0	75.0	35.4	50 - 100	28.6	48.8	0 - 100
ドメイン2. 疼痛の最小化																					
アウトカム項目5) 疾患予防/入院予防																					
アセスメント実施割合	87.6	20.7	0 - 100	88.6	20.0	0 - 100	89.2	19.3	0 - 100	89.7	19.0	0 - 100	90.7	19.4	0 - 100	93.4	14.9	14.3 - 100	90.9	18.7	0 - 100
ケア実施割合	40.7	28.0	0 - 100	41.3	27.9	0 - 100	41.5	29.7	0 - 100	44.9	28.8	0 - 100	40.1	28.2	0 - 100	44.1	27.1	0 - 100	45.6	29.4	0 - 100
アウトカム項目6) 尿路感染症予防																					
アセスメント実施割合	42.4	30.9	0 - 100	46.6	29.0	0 - 100	48.0	29.7	0 - 100	49.9	28.8	0 - 100	49.0	30.4	0 - 100	49.6	28.6	0 - 100	47.2	27.8	0 - 100
ケア実施割合	48.6	38.8	0 - 100	54.0	39.7	0 - 100	52.5	38.9	0 - 100	52.2	38.9	0 - 100	50.1	39.3	0 - 100	50.2	39.2	0 - 100	54.0	37.4	0 - 100
アウトカム項目7) 呼吸感染症予防																					
アセスメント実施割合	57.3	38.2	0 - 100	61.8	38.1	0 - 100	59.0	38.3	0 - 100	62.1	39.2	0 - 100	61.8	37.8	0 - 100	65.0	37.8	0 - 100	65.2	37.4	0 - 100
アセスメント実施割合◎	100.0	0.0	100 - 100	100.0	0.0	100 - 100	87.5	25.0	50 - 100	100.0	0.0	100 - 100	100.0	0.0	100 - 100	80.0	44.7	0 - 100	100.0	0.0	100 - 100
ケア実施割合	25.7	26.0	0 - 100	28.9	26.4	0 - 100	29.6	26.3	0 - 100	29.8	27.9	0 - 100	31.6	26.5	0 - 100	35.0	27.8	0 - 100	36.6	29.8	0 - 100
アウトカム項目8) 褥瘡予防																					
アセスメント実施割合	26.3	34.8	0 - 100	26.4	31.9	0 - 100	31.6	35.3	0 - 100	31.6	37.0	0 - 100	31.7	37.4	0 - 100	33.3	35.5	0 - 100	37.7	38.3	0 - 100
ケア実施割合	31.4	33.6	0 - 100	35.1	33.5	0 - 100	39.8	35.0	0 - 100	40.2	35.9	0 - 100	38.4	37.4	0 - 100	37.8	35.6	0 - 100	45.1	35.9	0 - 100
アセスメント実施割合◎	41.7	50.4	0 - 100	27.8	46.1	0 - 100	45.8	50.9	0 - 100	40.0	50.3	0 - 100	18.2	39.2	0 - 100	25.9	44.7	0 - 100	26.1	44.9	0 - 100
ケア実施割合◎	81.9	32.6	0 - 100	72.2	41.6	0 - 100	73.6	38.0	0 - 100	83.3	27.6	0 - 100	52.5	44.1	0 - 100	53.1	46.5	0 - 100	53.6	43.5	0 - 100
アウトカム項目9) 呼吸困難への対処																					
アセスメント実施割合	59.4	49.3	0 - 100	61.0	48.9	0 - 100	69.5	46.2	0 - 100	71.2	45.4	0 - 100	69.7	46.1	0 - 100	72.4	44.8	0 - 100	66.7	47.3	0 - 100
アセスメント実施割合◎	73.3	18.4	33 - 100	15.1	31.7	0 - 100	71.7	21.0	0 - 100	74.7	23.6	0 - 100	70.1	26.3	0 - 100	69.7	25.1	16.7 - 100	72.0	26.7	0 - 100
ケア実施割合◎	46.0	27.6	0 - 100	10.5	23.8	0 - 100	46.7	27.7	0 - 100	46.7	30.7	0 - 100	41.0	29.4	0 - 100	46.3	26.3	0 - 100	47.2	29.9	0 - 100
アウトカム項目10) 疼痛への対処																					
アセスメント実施割合	73.8	44.1	0 - 100	72.3	44.9	0 - 100	76.3	42.7	0 - 100	81.4	39.1	0 - 100	80.6	39.7	0 - 100	74.7	43.6	0 - 100	70.6	45.7	0 - 100
アセスメント実施割合◎	87.5	20.1	0 - 100	30.6	44.2	0 - 100	87.3	20.5	25 - 100	84.8	24.8	0 - 100	87.2	23.7	0 - 100	85.1	24.5	0 - 100	87.7	27.1	0 - 100
ケア実施割合◎	53.5	29.7	0 - 100	20.9	33.7	0 - 100	59.3	28.5	0 - 100	55.2	34.1	0 - 100	53.7	30.7	0 - 100	58.8	30.2	0 - 100	61.3	28.8	0 - 100
ドメイン3. 食生活の維持																					
アウトカム項目11) 栄養状態の保持																					
アセスメント実施割合	63.6	30.5	0 - 100	67.7	27.6	0 - 100	67.5	29.8	0 - 100	70.6	30.2	0 - 100	69.9	27.3	0 - 100	69.0	28.0	0 - 100	68.5	28.5	0 - 100
ケア実施割合	3.4	12.6	0 - 50	3.1	13.2	0 - 100	4.0	14.5	0 - 100	5.4	18.8	0 - 100	4.3	16.0	0 - 100	5.2	17.9	0 - 100	7.5	22.0	0 - 100
ケア実施割合◎	6.7	14.9	0 - 33	33.3	0.0	33 - 33	27.8	32.8	0 - 67	50.0	32.4	0 - 100	44.4	38.5	0 - 66.7	46.7	42.2	0 - 100	43.3	38.7	0 - 100
アウトカム項目12) 脱水予防																					
アセスメント実施割合	59.9	36.6	0 - 100	56.6	38.6	0 - 100	60.2	39.7	0 - 100	62.0	36.5	0 - 100	61.9	37.4	0 - 100	63.8	39.0	0 - 100	66.5	39.3	0 - 100
ケア実施割合	58.5	43.8	0 - 100	48.3	43.3	0 - 100	51.1	46.1	0 - 100	54.8	44.5	0 - 100	55.7	45.4	0 - 100	55.5	45.1	0 - 100	60.3	44.9	0 - 100

Note. ◎は必要時のみ回答

表8-2. VENUS質指標-プロセス指標 アウトカム項目毎実施割合・ケア実施割合

ドメイン4. 排泄活動の維持	初回調査			1か月調査			3か月調査			6か月調査			12か月調査			24か月調査			36か月調査		
アウトカム項目13) 排泄活動の維持																					
アセスメント実施割合	49.7	33.5	0 - 100	57.6	31.5	0 - 100	55.0	32.4	0 - 100	57.8	33.0	0 - 100	56.4	32.1	0 - 100	62.5	33.5	0 - 100	62.2	32.5	0 - 100
アセスメント実施割合◎	63.0	26.2	0 - 100	69.5	24.2	0 - 100	69.0	23.7	0 - 100	66.3	24.2	0 - 100	64.2	25.6	0 - 100	64.6	25.8	0 - 100	61.6	26.2	0 - 85.7
ケア実施割合	38.6	31.0	0 - 100	39.2	31.8	0 - 100	42.7	31.7	0 - 100	43.3	32.4	0 - 100	39.3	30.2	0 - 100	44.6	29.2	0 - 100	44.0	32.2	0 - 100
ドメイン5. 身体活動の維持																					
アウトカム項目14) 転倒転落による外傷予防																					
アセスメント実施割合	71.0	32.0	0 - 100	75.0	32.0	0 - 100	74.4	30.8	0 - 100	75.9	30.6	0 - 100	71.8	35.2	0 - 100	70.8	35.9	0 - 100	74.1	33.4	0 - 100
ケア実施割合	45.4	30.4	0 - 100	48.6	29.9	0 - 100	50.6	30.2	0 - 100	50.4	32.6	0 - 100	47.5	32.8	0 - 100	48.4	31.8	0 - 100	48.9	32.7	0 - 100
アウトカム項目15) 日常生活活動の維持																					
ケア実施割合	38.9	28.3	0 - 100	38.5	28.4	0 - 100	41.0	27.4	0 - 100	39.8	28.7	0 - 100	41.0	27.2	0 - 100	41.8	28.9	0 - 100	41.3	30.0	0 - 100
アウトカム項目16) 寝床以外での活動の維持																					
アセスメント実施割合	68.7	40.7	0 - 100	77.4	36.6	0 - 100	76.3	36.4	0 - 100	74.8	38.0	0 - 100	74.9	37.2	0 - 100	72.0	40.0	0 - 100	72.2	40.4	0 - 100
ケア実施割合	53.5	43.6	0 - 100	60.1	42.3	0 - 100	61.8	41.9	0 - 100	62.0	43.8	0 - 100	59.2	43.2	0 - 100	58.0	44.3	0 - 100	60.1	42.2	0 - 100
ドメイン6. 睡眠の確保																					
アウトカム項目17) 生活に支障のない睡眠の確保																					
アセスメント実施割合	61.4	33.2	0 - 100	64.9	32.9	0 - 100	65.5	32.5	0 - 100	67.9	34.7	0 - 100	65.0	35.7	0 - 100	67.4	35.1	0 - 100	67.2	34.2	0 - 100
ケア実施割合◎	61.2	32.5	0 - 100	64.7	31.7	0 - 100	65.8	32.4	0 - 100	65.8	34.7	0 - 100	64.5	37.5	0 - 100	53.5	34.2	0 - 100	60.6	37.7	0 - 100
ドメイン7. 認知機能低下による生活障がい最小化																					
アウトカム項目18) 認知機能低下による生活障がいの最小化																					
アセスメント実施割合	76.7	29.0	0 - 100	81.5	27.7	0 - 100	81.4	27.8	0 - 100	82.0	29.9	0 - 100	79.1	31.1	0 - 100	80.1	31.2	0 - 100	80.6	28.3	0 - 100
ケア実施割合◎	58.8	26.5	0 - 100	62.9	24.7	20 - 100	54.8	25.7	0 - 100	66.4	25.6	0 - 100	60.0	18.8	20 - 100	60.7	32.2	0 - 100	62.6	24.1	0 - 100
ドメイン8. 家族のウェルビーイングの追求																					
アウトカム項目19) 家族のウェルビーイングの追求																					
アセスメント実施割合	55.9	36.0	0 - 100	63.4	34.8	0 - 100	63.0	34.7	0 - 100	63.5	37.1	0 - 100	58.4	39.5	0 - 100	60.3	38.7	0 - 100	61.3	38.8	0 - 100
ケア実施割合	60.1	40.7	0 - 100	60.5	39.5	0 - 100	61.8	40.4	0 - 100	57.1	41.2	0 - 100	55.0	41.5	0 - 100	60.7	40.7	0 - 100	65.1	39.7	0 - 100

Note. ◎は必要時のみ回答

別添4

表8-3. VENUS質指標-プロセス指標 設問毎アセスメント・ケア実施割合

ドメイン1. 尊厳の追求		初回	1カ月後	3カ月後	6カ月後	12カ月後	24カ月後	36カ月後
アウトカム項目1) 社会的交流の確保/孤独感の最小化		n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)
アセスメント	関心ある活動への参加に関する満足度	96 (54.2)	108 (61.0)	108 (61.0)	107 (60.5)	99 (56.6)	91 (52.3)	70 (55.6)
アセスメント	家族との交流に関する満足度	107 (60.5)	124 (70.1)	119 (67.2)	123 (69.5)	117 (66.9)	111 (63.8)	78 (61.9)
アセスメント	親しい友人との交流に対する満足の度合い	72 (40.7)	85 (48.0)	92 (52.0)	85 (48.0)	73 (41.7)	68 (39.1)	42 (33.3)
アセスメント	日常生活を送る中で感じる寂しさ	94 (53.1)	93 (52.5)	107 (60.5)	105 (59.3)	103 (58.9)	95 (54.6)	67 (53.2)
ケア	介護保険、公的内容のサービス調整◎	68 (43.9)	75 (51.0)	64 (47.1)	60 (41.1)	63 (45.3)	69 (44.2)	57 (49.6)
ケア	近隣住民や友人を巻き込んだ関係の調整◎	18 (11.6)	10 (6.8)	8 (5.9)	18 (12.3)	15 (10.8)	12 (7.7)	10 (8.7)
ケア	電話・インターネットなどを利用した他者との交流の工夫◎	8 (5.2)	10 (6.8)	11 (8.1)	14 (9.6)	13 (9.4)	13 (8.3)	17 (14.8)
アウトカム項目2) 希望する生き方の実現		n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)
アセスメント	生活についての自己決定の程度	120 (67.8)	133 (75.1)	129 (72.9)	129 (72.9)	117 (66.9)	124 (71.3)	90 (71.4)
アセスメント	楽しみにしていること	130 (73.4)	143 (80.8)	141 (79.7)	139 (78.5)	128 (73.1)	141 (81.0)	87 (69.0)
アセスメント	今まで続けていた日常生活での習慣	139 (78.5)	135 (76.3)	136 (76.8)	136 (76.8)	130 (74.3)	130 (74.7)	93 (73.8)
アセスメント	老いや死に関する不安	67 (37.9)	85 (48.0)	92 (52.0)	91 (51.4)	82 (46.9)	82 (47.1)	65 (51.6)
ケア	利用者の意思の探索と医師形成のための支援	109 (61.6)	101 (57.1)	115 (65.0)	111 (62.7)	106 (60.6)	107 (61.5)	79 (62.7)
ケア	利用者の声に出せない苦しさの代弁	77 (43.5)	81 (45.8)	82 (46.3)	84 (47.5)	83 (47.4)	79 (45.4)	63 (50.0)
ケア	介護職員、医師などのチームメンバーにおける利用者の医師の共有	102 (57.6)	105 (59.3)	115 (65.0)	106 (59.9)	93 (53.1)	101 (58.0)	78 (61.9)
ケア	利用者だけで実現できないことに対する公的サービスの調整	74 (41.8)	77 (43.5)	78 (44.1)	75 (42.4)	69 (39.4)	54 (31.0)	57 (45.2)
ケア	利用者の友人や近隣住民を巻き込んだ支援体制の構築	19 (10.7)	23 (13.0)	28 (15.8)	28 (15.8)	26 (14.9)	19 (10.9)	17 (13.5)
ケア	利用者の意向の再確認	125 (70.6)	114 (64.4)	127 (71.8)	119 (67.2)	107 (61.1)	112 (64.4)	84 (66.7)
アウトカム項目3) 希望するケアの実現		n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)
アセスメント	療養場所の意向	119 (67.2)	128 (72.3)	132 (74.6)	133 (75.1)	124 (70.9)	118 (67.8)	86 (68.3)
アセスメント	受けたい医療・介護についての意向	138 (78.0)	137 (77.4)	135 (76.3)	135 (76.3)	130 (74.3)	126 (72.4)	90 (71.4)
アセスメント	代理意思決定者	66 (37.3)	73 (41.2)	81 (45.8)	85 (48.0)	78 (44.6)	78 (44.8)	56 (44.4)
アセスメント	人生で大切にしていること	84 (47.5)	96 (54.2)	100 (56.5)	101 (57.1)	93 (53.1)	94 (54.0)	67 (53.2)
アセスメント	利用者の意向の変化	98 (55.4)	106 (59.9)	112 (63.3)	118 (66.7)	102 (58.3)	94 (54.0)	77 (61.1)
ケア	話し合う時間の設定	125 (70.6)	122 (68.9)	124 (70.1)	116 (65.5)	107 (61.1)	109 (62.6)	86 (68.3)
ケア	話し合った内容の記録	117 (66.1)	113 (63.8)	118 (66.7)	106 (59.9)	103 (58.9)	110 (63.2)	86 (68.3)
ケア	家族・他の職種と話し合った内容の共有	120 (67.8)	113 (63.8)	109 (61.6)	113 (63.8)	94 (53.7)	104 (59.8)	79 (62.7)
ケア	利用者・家族・他の職種の話し合いの場の設置	68 (38.4)	76 (42.9)	76 (42.9)	68 (38.4)	55 (31.4)	46 (26.4)	44 (34.9)
ケア	複数の専門家による話し合いの場の設定	44 (24.9)	48 (27.1)	45 (25.4)	40 (22.6)	30 (17.1)	26 (14.9)	29 (23.0)
アウトカム項目4) 活動制限の撤廃		n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)
アセスメント	見当識障害・専門の程度◎	3 (75.0)	2 (100.0)	3 (75.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	2 (100.0)	7 (100.0)
アセスメント	薬剤の使用状況◎	3 (75.0)	2 (100.0)	3 (75.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	2 (100.0)	6 (85.7)
アセスメント	身体抑制に対する家族・他職種の認識◎	3 (75.0)	2 (100.0)	3 (75.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	2 (100.0)	4 (57.1)
ケア	他職種での身体抑制の原因について検討◎	3 (75.0)	2 (100.0)	3 (75.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (100.0)	2 (28.6)
ケア	原因の除去または回避方法の検討◎	3 (75.0)	2 (100.0)	3 (75.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (50.0)	2 (28.6)

Note. ◎は必要時のみ回答する設問

表8-4. VENUS質指標-プロセス指標 設問毎アセスメント・ケア実施割合

ドメイン2. 苦痛の最小化		初回	1カ月後	3カ月後	6カ月後	12カ月後	24カ月後	36カ月後
アウトカム項目5) 疾患予防/入院予防		n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)
アセスメント	意識レベルの変化	143 (80.8)	151 (85.3)	153 (86.4)	147 (83.1)	148 (84.6)	155 (89.1)	110 (87.3)
アセスメント	活動状況の変化	158 (89.3)	165 (93.2)	162 (91.5)	165 (93.2)	164 (93.7)	168 (96.6)	115 (91.3)
アセスメント	内服状況 (処方内容、アドヒアランス、管理状況)	160 (90.4)	165 (93.2)	164 (92.7)	164 (92.7)	161 (92.0)	165 (94.8)	113 (89.7)
アセスメント	体重	132 (74.6)	127 (71.8)	132 (74.6)	138 (78.0)	144 (82.3)	148 (85.1)	101 (80.2)
アセスメント	浮腫	162 (92.0)	157 (88.7)	165 (93.2)	166 (93.8)	167 (95.4)	170 (97.7)	123 (97.6)
アセスメント	水分摂取状況	164 (92.7)	165 (93.2)	164 (92.7)	166 (93.8)	165 (94.3)	166 (95.4)	123 (97.6)
アセスメント	セルフケア能力	165 (93.2)	168 (94.9)	165 (93.2)	166 (93.8)	162 (92.6)	166 (95.4)	117 (92.9)
ケア	疾患管理に関する安全上のアドバイス	121 (68.4)	119 (67.2)	127 (71.8)	122 (68.9)	108 (61.7)	118 (67.8)	82 (65.1)
ケア	受診に合わせたタイムリーなかかりつけ医 (医師・看護職) との情報共有活動	96 (54.2)	93 (52.5)	98 (55.4)	107 (60.5)	95 (54.3)	102 (58.6)	80 (63.5)
ケア	疾患管理に関する介護支援専門員との情報共有	119 (67.2)	129 (72.9)	127 (71.8)	133 (75.1)	130 (74.3)	138 (79.3)	100 (79.4)
ケア	疾患管理に関する訪問介護員 (ホームヘルパー) との情報共有	41 (23.6)	46 (26.0)	47 (26.6)	54 (30.5)	49 (28.0)	56 (32.2)	44 (34.9)
ケア	疾患管理に関する通所介護等の介護職員との情報共有	59 (33.7)	57 (32.2)	60 (33.9)	67 (37.9)	53 (30.3)	63 (36.2)	50 (39.7)
ケア	内服の調整に関する医療職 (医師・薬剤師) との相談	66 (37.3)	65 (36.7)	58 (32.8)	73 (41.2)	61 (34.9)	71 (40.8)	45 (35.7)
ケア	疾患管理に関するかかりつけ医 (医師・看護職) との、情報共有以外の連携	38 (21.5)	37 (20.9)	35 (19.8)	43 (24.3)	35 (20.0)	42 (24.1)	37 (29.4)
ケア	災害時対応の計画立案 (安否確認、人工呼吸器・HTの管理 等)	40 (22.6)	39 (22.0)	35 (19.8)	37 (20.9)	31 (17.7)	24 (13.8)	22 (17.5)
アウトカム項目6) 尿路感染症予防		n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)
アセスメント	陰部の保清状況	109 (61.6)	122 (68.9)	127 (71.8)	131 (74.0)	123 (70.3)	124 (71.3)	87 (69.0)
アセスメント	自覚症状 (残尿感、頻尿、排尿時痛)	111 (62.7)	117 (66.1)	117 (66.1)	123 (69.5)	125 (71.4)	124 (71.3)	89 (70.6)
アセスメント	残尿測定 (導尿、エコー)	9 (5.1)	5 (2.8)	6 (3.4)	7 (4.0)	5 (2.9)	6 (3.4)	3 (2.4)
アセスメント	尿性状	71 (40.1)	86 (48.6)	90 (50.8)	92 (52.0)	90 (51.4)	91 (52.3)	59 (46.8)
ケア	陰部の清潔	108 (61.0)	116 (65.5)	119 (67.2)	112 (63.3)	114 (65.1)	111 (63.8)	86 (68.3)
ケア	尿路感染症を予防するための生活動作の指導 (排泄後の拭き方等)	63 (35.6)	76 (42.9)	67 (37.9)	64 (36.2)	62 (35.4)	61 (35.1)	45 (35.7)
ケア	実施可能か判断した上で、水分補給量を増加	87 (49.2)	95 (53.7)	93 (52.5)	101 (57.1)	87 (49.7)	90 (51.7)	73 (57.9)
アウトカム項目7) 呼吸感染症予防		n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)
アセスメント	体重減少	117 (66.5)	119 (67.2)	120 (67.8)	117 (66.1)	127 (72.6)	132 (75.9)	93 (73.8)
アセスメント	食べる姿勢・食欲・意識レベル	123 (69.9)	135 (76.3)	127 (71.8)	131 (74.0)	131 (74.9)	136 (78.2)	98 (77.8)
アセスメント	口腔内乾燥・技師の具合・咀嚼困難・口からの食べ物のこぼれ	99 (56.3)	113 (63.8)	102 (57.6)	109 (61.6)	106 (60.6)	108 (62.1)	80 (63.5)
アセスメント	口腔内食物残渣・話し方と発音の変化	101 (57.4)	106 (59.9)	102 (57.6)	107 (60.5)	104 (59.4)	107 (61.5)	82 (65.1)
アセスメント	むせ・食後の湿性咳嗽	95 (54.0)	108 (61.0)	103 (58.2)	115 (65.0)	106 (60.6)	109 (62.6)	79 (62.7)
アセスメント	食事時間の延長	70 (39.8)	75 (42.4)	73 (41.2)	81 (45.8)	75 (42.9)	87 (50.0)	61 (48.4)
アセスメント	喀痰・咳嗽◎	2 (100.0)	1 (100.0)	3 (75.0)	3 (100.0)	2 (100.0)	4 (80.0)	5 (100.0)
アセスメント	意識レベル・活気◎	2 (100.0)	1 (100.0)	4 (100.0)	3 (100.0)	2 (100.0)	4 (80.0)	5 (100.0)
ケア	口腔ケア	80 (45.5)	91 (51.4)	97 (54.8)	103 (58.2)	97 (55.4)	96 (55.2)	79 (62.7)
ケア	接触嚥下訓練の実施	28 (15.9)	33 (18.6)	31 (17.5)	33 (18.6)	27 (15.4)	30 (17.2)	27 (21.4)
ケア	食形態・増粘剤の検討	27 (15.4)	28 (15.8)	31 (17.5)	30 (16.9)	38 (21.7)	41 (23.6)	32 (25.4)
ケア	鎮静剤・睡眠導入剤の減量・中止について他職種と相談	18 (10.2)	21 (11.9)	20 (11.3)	27 (15.3)	23 (13.1)	26 (14.9)	20 (15.9)
ケア	臥床時、東葉を軽度挙上するようポジショニング調整	25 (14.2)	34 (19.2)	34 (19.2)	32 (18.1)	33 (18.9)	44 (25.3)	33 (26.2)
ケア	インフルエンザワクチンの接種	93 (52.8)	100 (56.5)	101 (57.1)	91 (51.4)	114 (65.1)	128 (73.6)	86 (68.3)

Note. ◎は必要時のみ回答する設問

別添4

表8-5. VENUS質指標-プロセス指標 設問毎アセスメント・ケア実施割合

ドメイン2. 苦痛の最小化		初回	1カ月後	3カ月後	6カ月後	12カ月後	24カ月後	36カ月後
アウトカム項目8) 褥瘡予防		n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)
アセスメント	スケールを用いたリスクアセスメント	28 (17.1)	30 (16.9)	41 (23.2)	46 (26.0)	46 (26.3)	40 (23.0)	40 (31.7)
アセスメント	マットレスの適切性	54 (33.1)	52 (29.4)	65 (36.7)	58 (32.8)	63 (36.0)	73 (42.0)	57 (45.2)
アセスメント	介護者の褥瘡に関する知識	56 (34.4)	63 (35.6)	75 (42.4)	71 (40.1)	69 (39.4)	73 (42.0)	55 (43.7)
アセスメント	皮膚に装着された機器類による皮膚損傷リスク	34 (21.0)	42 (23.7)	43 (24.3)	49 (27.7)	44 (25.1)	46 (26.4)	38 (30.2)
ケア	手指の握り込みや拘縮肢による圧迫予防	27 (16.5)	30 (16.9)	34 (19.2)	36 (20.3)	34 (19.4)	33 (19.0)	30 (23.8)
ケア	適切なマットレスの交換・内圧調整	26 (16.0)	28 (15.8)	36 (20.3)	41 (23.2)	43 (24.6)	43 (24.7)	40 (31.7)
ケア	必要栄養摂取量の確保	66 (40.2)	83 (46.9)	98 (55.4)	97 (54.8)	89 (50.9)	83 (47.7)	66 (52.4)
ケア	皮膚保護のための衣類や環境の調整	70 (43.2)	86 (48.6)	93 (52.5)	97 (54.8)	80 (45.7)	86 (49.4)	75 (59.5)
ケア	スキンケアを予防する愛護的なケア	68 (42.0)	84 (47.5)	91 (51.4)	85 (48.0)	90 (51.4)	84 (48.3)	73 (57.9)
アセスメント	DESIGN-Rによる重症度のアセスメント◎	10 (41.7)	5 (27.8)	11 (45.8)	8 (40.0)	6 (18.2)	7 (25.9)	6 (26.1)
ケア	創部及び創周囲に対する十分な量の水を用いた石鹸洗浄◎	18 (75.0)	13 (72.2)	18 (75.0)	18 (90.0)	18 (54.5)	14 (51.9)	12 (52.2)
ケア	創部の深さ、滲出液の状況、炎症反応の有無に応じた外用薬・ドレッシング剤の検討◎	21 (87.5)	13 (72.2)	18 (75.0)	16 (80.0)	18 (54.5)	15 (55.6)	12 (52.2)
ケア	創部の汚染予防◎	20 (83.3)	13 (72.2)	17 (70.8)	16 (80.0)	16 (48.5)	14 (51.9)	13 (56.5)
アウトカム項目9) 呼吸困難への対処		n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)
アセスメント	労作時の呼吸困難	98 (59.4)	108 (61.0)	123 (69.5)	126 (71.2)	122 (69.7)	126 (72.4)	84 (66.7)
アセスメント	呼吸困難による生活への影響◎	37 (92.5)	32 (18.1)	30 (90.9)	30 (90.9)	35 (89.7)	34 (89.5)	22 (88.0)
アセスメント	軽快因子や増悪因子◎	37 (92.5)	32 (18.1)	30 (90.9)	29 (87.9)	32 (82.1)	34 (89.5)	23 (92.0)
アセスメント	患者のセルフケア能力◎	33 (82.5)	29 (16.4)	27 (81.8)	27 (81.8)	29 (74.4)	31 (81.6)	22 (88.0)
アセスメント	食事摂取量・内容◎	32 (80.0)	28 (15.8)	27 (81.8)	30 (90.9)	29 (74.4)	30 (78.9)	19 (76.0)
アセスメント	胸部の可動性◎	27 (67.5)	28 (15.8)	22 (66.7)	24 (72.7)	25 (64.1)	24 (63.2)	15 (60.0)
アセスメント	検査データ (血液ガス、呼吸機能検査) ◎	10 (25.0)	11 (6.2)	6 (18.2)	8 (24.2)	14 (35.9)	6 (15.8)	7 (28.0)
ケア	利用者・家族・サービス提供者間で目標を共有◎	23 (57.5)	24 (13.6)	21 (63.6)	21 (63.6)	20 (51.3)	23 (60.5)	14 (56.0)
ケア	生活動作のアドバイス◎	33 (82.5)	33 (18.6)	27 (81.8)	26 (78.8)	31 (79.5)	33 (86.8)	21 (84.0)
ケア	呼吸法の指導◎	18 (45.0)	22 (12.4)	18 (54.5)	17 (51.5)	16 (41.0)	18 (47.4)	14 (56.0)
ケア	医師と連絡を取り別の薬剤・治療法の検討◎	12 (30.0)	10 (5.6)	5 (15.2)	9 (27.3)	9 (23.1)	8 (21.1)	7 (28.0)
ケア	排痰ドレナージ・スクイーミングの実施◎	6 (15.0)	4 (2.3)	6 (18.2)	4 (12.1)	4 (10.3)	6 (15.8)	3 (12.0)
アウトカム項目10) 疼痛への対処		n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)
アセスメント	労作時の疼痛の有無・程度	124 (73.8)	128 (72.3)	135 (76.3)	144 (81.4)	141 (80.6)	130 (74.7)	89 (70.6)
アセスメント	疼痛による生活への影響◎	67 (93.1)	58 (32.8)	74 (96.1)	69 (93.2)	69 (95.8)	70 (94.6)	50 (94.3)
アセスメント	軽快因子や増悪因子◎	67 (93.1)	57 (32.2)	71 (92.2)	67 (90.5)	66 (91.7)	67 (90.5)	47 (88.7)
アセスメント	皮膚病変の有無◎	55 (76.4)	48 (27.1)	56 (72.7)	52 (70.3)	56 (77.8)	55 (74.3)	43 (81.1)
アセスメント	患者のセルフケア能力◎	63 (87.5)	54 (30.5)	68 (88.3)	63 (85.1)	60 (83.3)	60 (81.1)	46 (86.8)
ケア	利用者・家族・サービス提供者間で情報を共有◎	40 (56.3)	40 (22.6)	46 (59.7)	41 (55.4)	38 (52.8)	49 (66.2)	37 (69.8)
ケア	生活動作のアドバイス◎	57 (80.3)	49 (27.7)	67 (87.0)	59 (79.7)	57 (79.2)	59 (79.7)	45 (84.9)
ケア	自宅内の環境調整◎	43 (60.6)	41 (23.2)	53 (68.8)	46 (62.2)	47 (65.3)	47 (63.5)	37 (69.8)
ケア	内服管理ができるよう支援◎	40 (56.3)	39 (22.0)	48 (62.3)	42 (56.8)	38 (52.8)	44 (59.5)	37 (69.8)
ケア	別の薬剤・治療法の実施に関する医師との相談◎	21 (29.6)	17 (9.6)	22 (28.6)	19 (25.7)	11 (15.3)	21 (28.4)	15 (28.3)
ケア	リラクゼーションの導入◎	27 (38.0)	36 (20.3)	38 (49.4)	38 (51.4)	41 (56.9)	41 (55.4)	24 (45.3)

Note. ◎は必要時のみ回答する設問

別添4

表8-6. VENUS質指標-プロセス指標 設問毎アセスメント・ケア実施割合

ドメイン3. 食生活の維持		初回	1カ月後	3カ月後	6カ月後	12カ月後	24カ月後	36カ月後
アウトカム項目11) 栄養状態の保持		n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)
アセスメント	体重の減少	106 (59.9)	118 (66.7)	118 (66.7)	123 (69.5)	130 (74.3)	131 (75.3)	92 (73.0)
アセスメント	BMI	45 (25.4)	51 (28.8)	53 (29.9)	70 (39.5)	63 (36.0)	60 (34.5)	44 (34.9)
アセスメント	ADL	142 (80.2)	156 (88.1)	151 (85.3)	153 (86.4)	150 (85.7)	148 (85.1)	112 (88.9)
アセスメント	疾患の悪化	140 (79.1)	149 (84.2)	147 (83.1)	152 (85.9)	147 (84.0)	148 (85.1)	104 (82.5)
アセスメント	神経・精神的問題・認知症の有無	137 (77.4)	146 (82.5)	142 (80.2)	144 (81.4)	147 (84.0)	144 (82.8)	106 (84.1)
アセスメント	食事内容	147 (83.1)	153 (86.4)	149 (84.2)	150 (84.7)	153 (87.4)	150 (86.2)	106 (84.1)
アセスメント	口腔内機能	113 (63.8)	115 (65.0)	113 (63.8)	119 (67.2)	114 (65.1)	111 (63.8)	81 (64.3)
アセスメント	かみ合わせ	71 (40.1)	71 (40.1)	83 (46.9)	89 (50.3)	75 (42.9)	69 (39.7)	45 (35.7)
ケア	歯科医師、歯科衛生士との相談	9 (5.1)	8 (4.5)	12 (6.8)	13 (7.3)	10 (5.7)	14 (8.0)	12 (9.5)
ケア	栄養士との相談	3 (1.7)	3 (1.7)	2 (1.1)	6 (3.4)	5 (2.9)	4 (2.3)	7 (5.6)
ケア	栄養補助食品の使用◎	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (33.3)	5 (50.0)	2 (66.7)	5 (50.0)	5 (50.0)
ケア	食事内容・形態の変更◎	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (33.3)	7 (70.0)	1 (33.3)	6 (60.0)	6 (60.0)
ケア	配食サービス等地域資源の活用◎	1 (20.0)	1 (100.0)	1 (16.7)	3 (30.0)	1 (33.3)	3 (30.0)	2 (20.0)
アウトカム項目12) 脱水予防		n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)
アセスメント	利尿剤の服用	72 (40.7)	72 (40.7)	83 (46.9)	74 (41.8)	88 (50.3)	89 (51.1)	70 (55.6)
アセスメント	嘔吐・下痢	97 (54.8)	103 (58.2)	112 (63.3)	108 (61.0)	104 (59.4)	113 (64.9)	83 (65.9)
アセスメント	脱水を誘発する環境要因 (=エアコンの有無など)	126 (71.2)	116 (65.5)	114 (64.4)	130 (73.4)	117 (66.9)	124 (71.3)	90 (71.4)
アセスメント	脱水の対処法に関する認識	129 (72.9)	110 (62.1)	117 (66.1)	127 (71.8)	124 (70.9)	118 (67.8)	92 (73.0)
ケア	脱水の原因をコントロールする支援	87 (49.2)	68 (38.4)	77 (43.5)	82 (46.3)	85 (48.6)	86 (49.4)	72 (57.1)
ケア	利用者の生活リズムに合わせた脱水の予防法・対処法に関する指導	120 (67.8)	103 (58.2)	104 (58.8)	112 (63.3)	110 (62.9)	107 (61.5)	80 (63.5)
ドメイン4. 排泄活動の維持		初回	1カ月後	3カ月後	6カ月後	12カ月後	24カ月後	36カ月後
アウトカム項目13) 排泄活動の維持		n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)
アセスメント	排泄の問題の有無	138 (78.0)	153 (86.4)	154 (87.0)	152 (85.9)	151 (86.3)	151 (86.8)	115 (91.3)
アセスメント	Bristol スケールの使用による便性状アセスメント	36 (20.3)	42 (23.7)	44 (24.9)	52 (29.4)	46 (26.3)	64 (36.8)	47 (37.3)
アセスメント	排泄動作	90 (50.8)	111 (62.7)	94 (53.1)	103 (58.2)	99 (56.6)	111 (63.8)	73 (57.9)
アセスメント	内服している薬剤の種類・数◎	78 (82.1)	83 (91.2)	89 (90.8)	96 (91.4)	84 (84.8)	96 (86.5)	66 (82.5)
アセスメント	内服している下剤の内服量とタイミング◎	72 (75.8)	77 (84.6)	84 (85.7)	87 (82.9)	75 (75.8)	88 (79.3)	64 (80.0)
アセスメント	残尿感・残便感の有無◎	67 (70.5)	75 (82.4)	83 (84.7)	82 (78.1)	80 (80.8)	83 (74.8)	56 (70.0)
アセスメント	食事内容◎	80 (84.2)	80 (87.9)	81 (82.7)	89 (84.8)	85 (85.9)	93 (83.8)	66 (82.5)
アセスメント	原因の検討 (イレウスや大腸癌などの重篤な疾患との識別) ◎	50 (52.6)	54 (59.3)	59 (60.2)	61 (58.1)	50 (50.5)	65 (58.6)	40 (50.0)
アセスメント	超音波による膀胱、大腸の状態観察◎	6 (6.3)	5 (5.5)	3 (3.1)	2 (1.9)	7 (7.1)	1 (0.9)	1 (1.3)
アセスメント	排泄の問題に関する利用者自身の認識◎	66 (69.5)	69 (75.8)	74 (75.5)	70 (66.7)	64 (64.6)	76 (68.5)	52 (65.0)
ケア	下剤や浣腸・摘便の実施	78 (44.1)	73 (41.2)	77 (43.5)	83 (46.9)	77 (44.0)	79 (45.4)	57 (45.2)
ケア	下剤の用法・容量の調整	78 (44.1)	80 (45.2)	85 (48.0)	93 (52.5)	70 (40.0)	94 (54.0)	58 (46.0)
ケア	食物繊維や乳酸菌などを含む食事接種内容の調整	59 (33.3)	63 (35.6)	81 (45.8)	75 (42.4)	76 (43.4)	87 (50.0)	56 (44.4)
ケア	水分摂取量の調整	110 (62.1)	110 (62.1)	113 (63.8)	110 (62.1)	114 (65.1)	121 (69.5)	89 (70.6)
ケア	腹部マッサージの実施	43 (24.3)	55 (31.1)	56 (31.6)	56 (31.6)	51 (29.1)	46 (26.4)	46 (36.5)
ケア	利用者の状態に応じた身体活動量の増加に関する指導	74 (41.8)	72 (40.7)	83 (46.9)	83 (46.9)	74 (42.3)	81 (46.6)	61 (48.4)
ケア	定期的なトイレ習慣 (誘導) に関する指導	47 (26.6)	46 (26.0)	53 (29.9)	46 (26.0)	35 (20.0)	45 (25.9)	41 (32.5)
ケア	排泄の問題解消のための日常生活のアドバイス	93 (52.5)	95 (53.7)	101 (57.1)	102 (57.6)	100 (57.1)	114 (65.5)	67 (53.2)
ケア	排泄の問題解消のための看護職と医療機関での相談や話し合い	33 (18.6)	31 (17.5)	32 (18.1)	41 (23.2)	22 (12.6)	32 (18.4)	24 (19.0)

Note. ◎は必要時のみ回答する設問

表8-7. VENUS質指標-プロセス指標 設問毎アセスメント・ケア実施割合

ドメイン5. 身体活動の維持		初回	1カ月後	3カ月後	6カ月後	12カ月後	24カ月後	36カ月後
アウトカム項目14) 転倒転落による外傷の予防		n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)
アセスメント	服薬状況による身体・精神的影響	112 (63.3)	117 (66.1)	120 (67.8)	128 (72.3)	116 (66.3)	110 (63.2)	81 (64.3)
アセスメント	身体のバランス保持能力	155 (87.6)	155 (87.6)	161 (91.0)	159 (89.8)	147 (84.0)	147 (84.5)	111 (88.1)
アセスメント	失認・失行	107 (60.5)	124 (70.1)	119 (67.2)	119 (67.2)	113 (64.6)	108 (62.1)	85 (67.5)
アセスメント	利用者・家族の理解力	135 (76.3)	143 (80.8)	139 (78.5)	149 (84.2)	131 (74.9)	135 (77.6)	101 (80.2)
アセスメント	循環器系の問題	116 (65.5)	130 (73.4)	121 (68.4)	129 (72.9)	119 (68.0)	116 (66.7)	83 (65.9)
アセスメント	移動時使用物品の状態 (履き物・移動補助用具)	129 (72.9)	128 (72.3)	130 (73.4)	122 (68.9)	128 (73.1)	123 (70.7)	99 (78.6)
ケア	生活環境・整備 (床材、手すり、ベストポジションバーなど)	78 (44.1)	80 (45.2)	83 (46.9)	83 (46.9)	74 (42.3)	82 (47.1)	62 (49.2)
ケア	SOSの方法の検討	68 (38.4)	78 (44.1)	84 (47.5)	86 (48.6)	74 (42.3)	85 (48.9)	67 (53.2)
ケア	身体バランスを維持、強化することを目的とした身体活動	104 (58.8)	108 (61.0)	116 (65.5)	112 (63.3)	107 (61.1)	103 (59.2)	76 (60.3)
ケア	移動動作能力、筋力の維持・強化を目的とした身体活動	105 (59.3)	108 (61.0)	122 (68.9)	113 (63.8)	112 (64.0)	110 (63.2)	78 (61.9)
ケア	不要な薬剤の原料・中止の点検	37 (20.9)	46 (26.0)	49 (27.7)	54 (30.5)	51 (29.1)	50 (28.7)	30 (23.8)
ケア	原疾患治療の管理	110 (62.1)	125 (70.6)	120 (67.8)	121 (68.4)	114 (65.1)	107 (61.5)	79 (62.7)
ケア	理学療法士、作業療法士による支援の導入	61 (34.5)	57 (32.2)	53 (29.9)	55 (31.1)	50 (28.6)	53 (30.5)	39 (31.0)
アウトカム項目15) 日常的な活動の維持		n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)
ケア	筋力・関節活動	115 (65.0)	116 (65.5)	125 (70.6)	122 (68.9)	129 (73.7)	122 (70.1)	88 (69.8)
ケア	生活環境整備	107 (60.5)	109 (61.6)	119 (67.2)	113 (63.8)	115 (65.7)	109 (62.6)	82 (65.1)
ケア	ADLの動作訓練の実施：入浴・移動・トイレ・食事・個人衛生	90 (51.1)	93 (52.5)	84 (47.5)	84 (47.5)	91 (52.0)	79 (45.4)	63 (50.0)
ケア	疼痛・呼吸困難等の身体症状緩和	68 (38.4)	69 (39.0)	79 (44.6)	76 (42.9)	71 (40.6)	84 (48.3)	54 (42.9)
ケア	補助具の追加	29 (16.4)	21 (11.9)	25 (14.1)	29 (16.4)	31 (17.7)	29 (16.7)	29 (23.0)
ケア	作業療法士への家事動作の維持・改善についての相談	21 (11.9)	22 (12.4)	21 (11.9)	17 (9.6)	17 (9.7)	17 (9.8)	9 (7.1)
ケア	変化するADLの需要を促す話し合い	52 (29.4)	47 (26.6)	55 (31.1)	52 (29.4)	48 (27.4)	69 (39.7)	39 (31.0)
アウトカム項目16) 寝床以外での活動の維持		n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)
アセスメント	家族やその他の職種からの支援状況	119 (67.2)	137 (77.4)	136 (76.8)	132 (74.6)	130 (74.3)	128 (73.6)	90 (71.4)
アセスメント	室内・室外環境	115 (65.0)	128 (72.3)	125 (70.6)	124 (70.1)	123 (70.3)	117 (67.2)	92 (73.0)
アセスメント	活動意欲	131 (74.0)	146 (82.5)	144 (81.4)	141 (79.7)	140 (80.0)	131 (75.3)	91 (72.2)
ケア	寝室から外に出る機会の提供	86 (48.6)	104 (58.8)	100 (56.5)	110 (62.1)	103 (58.9)	98 (56.3)	78 (61.9)
ケア	家の外に出る機会の提供	99 (56.3)	111 (62.7)	114 (64.4)	108 (61.0)	100 (57.1)	99 (56.9)	70 (55.6)
ケア	活動意欲を高めるためのケアの実施	97 (55.1)	104 (58.8)	114 (64.4)	111 (62.7)	108 (61.7)	106 (60.9)	79 (62.7)
ドメイン6. 睡眠の確保		初回	1カ月後	3カ月後	6カ月後	12カ月後	24カ月後	36カ月後
アウトカム項目17) 生活に支障のない睡眠の確保		n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)
アセスメント	睡眠時間、中途覚醒の頻度	134 (75.7)	140 (79.1)	141 (79.7)	146 (82.5)	137 (78.3)	140 (80.5)	105 (83.3)
アセスメント	睡眠導入剤の内服状況	99 (55.9)	96 (54.2)	98 (55.4)	102 (57.6)	95 (54.3)	103 (59.2)	72 (57.1)
アセスメント	うつ状態の傾向	90 (50.8)	93 (52.5)	94 (53.1)	112 (63.3)	100 (57.1)	103 (59.2)	71 (56.3)
アセスメント	日中の過ごし方	151 (85.3)	159 (89.8)	159 (89.8)	151 (85.3)	147 (84.0)	146 (83.9)	109 (86.5)
アセスメント	寝床周辺の環境	102 (57.6)	116 (65.5)	119 (67.2)	119 (67.2)	111 (63.4)	118 (67.8)	82 (65.1)
アセスメント	睡眠障害による社会生活への影響	76 (42.9)	85 (48.0)	85 (48.0)	91 (51.4)	92 (52.6)	94 (54.0)	69 (54.8)
ケア	睡眠導入剤に関するアドバイス、医療職との相談◎	22 (51.2)	16 (47.1)	20 (52.6)	19 (51.4)	16 (51.6)	16 (37.2)	17 (51.5)
ケア	寝床周辺の環境整備◎	21 (48.8)	23 (67.6)	23 (60.5)	23 (62.2)	18 (58.1)	19 (44.2)	18 (54.5)
ケア	日中の過ごし方に関するアドバイス◎	36 (83.7)	27 (79.4)	32 (84.2)	31 (83.8)	26 (83.9)	34 (79.1)	25 (75.8)

Note. ◎は必要時のみ回答する設問

別添4

表8-8. VENUS質指標-プロセス指標 設問毎アセスメント・ケア実施割合

ドメイン7. 認知機能低下による生活障がい最小化		初回	1カ月後	3カ月後	6カ月後	12カ月後	24カ月後	36カ月後
アウトカム項目18) 認知機能低下による生活障がい最小化		n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)
アセスメント	表情・言動	148 (83.6)	158 (89.3)	157 (88.7)	159 (89.8)	152 (86.9)	153 (87.9)	112 (88.9)
アセスメント	家族や親しい人との関係、会う頻度	127 (71.8)	136 (76.8)	134 (75.7)	133 (75.1)	130 (74.3)	131 (75.3)	95 (75.4)
アセスメント	ストレスや不安を与える出来事の有無	137 (77.4)	146 (82.5)	143 (80.8)	147 (83.1)	138 (78.9)	138 (79.3)	100 (79.4)
アセスメント	疼痛、発熱、便秘、その他体調不良などの身体症状の有無	159 (89.8)	163 (92.1)	160 (90.4)	157 (88.7)	152 (86.9)	154 (88.5)	114 (90.5)
アセスメント	利用者の「望む暮らし」の把握	108 (61.0)	118 (66.7)	126 (71.2)	130 (73.4)	120 (68.6)	121 (69.5)	87 (69.0)
ケア	身体症状や痛みに対する対応◎	30 (88.2)	19 (90.5)	17 (73.9)	22 (88.0)	21 (80.8)	25 (83.3)	26 (83.9)
ケア	上記以外の原因への対応◎	25 (73.5)	18 (85.7)	17 (73.9)	22 (88.0)	23 (88.5)	23 (76.7)	26 (83.9)
ケア	行動・心理症状への対応◎	27 (79.4)	18 (85.7)	20 (87.0)	23 (92.0)	25 (96.2)	24 (80.0)	27 (87.1)
ケア	医師・薬剤師と認知機能障害に関する薬の調整◎	13 (38.2)	8 (38.1)	8 (34.8)	8 (32.0)	8 (30.8)	11 (36.7)	13 (41.9)
ケア	認知機能障害の理解を高めるための地域への働きかけ◎	5 (14.7)	3 (14.3)	1 (4.3)	8 (32.0)	1 (3.8)	8 (26.7)	5 (16.1)
ドメイン8. 家族のウェルビーイングの追求		初回	1カ月後	3カ月後	6カ月後	12カ月後	24カ月後	36カ月後
アウトカム項目19) 家族のウェルビーイングの追求		n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)	n (%)
アセスメント	家族構成（利用者が家族と聞いて思い浮かべる人）・役割	127 (71.8)	141 (79.7)	143 (80.8)	145 (81.9)	124 (70.9)	127 (73.0)	93 (73.8)
アセスメント	家族の仕事と経済状況	97 (54.8)	113 (63.8)	107 (60.5)	110 (62.1)	102 (58.3)	98 (56.3)	77 (61.1)
アセスメント	利用者の状況による仕事への影響	70 (39.5)	85 (48.0)	88 (49.7)	98 (55.4)	85 (48.6)	85 (48.9)	67 (53.2)
アセスメント	利用者および家族の療養に関する意向	111 (62.7)	127 (71.8)	127 (71.8)	127 (71.8)	116 (66.3)	121 (69.5)	85 (67.5)
アセスメント	介護負担・介護意欲	119 (67.2)	130 (73.4)	132 (74.6)	123 (69.5)	112 (64.0)	125 (71.8)	83 (65.9)
アセスメント	虐待等家庭生活上の危機	60 (33.9)	70 (39.5)	65 (36.7)	74 (41.8)	69 (39.4)	72 (41.4)	54 (42.9)
アセスメント	社会資源の利用状況	108 (61.0)	120 (67.8)	119 (67.2)	110 (62.1)	107 (61.1)	106 (60.9)	82 (65.1)
ケア	定期的なサービス提供者とのコミュニケーション	131 (74.0)	136 (76.8)	130 (73.4)	128 (72.3)	124 (70.9)	129 (74.1)	97 (77.0)
ケア	利用する社会資源の調整に関する検討	85 (48.0)	91 (51.4)	96 (54.2)	82 (46.3)	80 (45.7)	91 (52.3)	70 (55.6)
ケア	利用者を担当する専門職からの連絡	103 (58.2)	94 (53.1)	102 (57.6)	93 (52.5)	85 (48.6)	97 (55.7)	79 (62.7)

Note. ◎は必要時のみ回答する設問

表9. 家族の基本属性

	全体	訪問看護利用者群	訪問看護非利用者群	p 値
	n = 159	n = 119	n = 40	
	n(%) / 平均 ± 標準偏差 [範囲]	n(%) / 平均 ± 標準偏差 [範囲]	n(%) / 平均 ± 標準偏差 [範囲]	
年齢	68.7 ± 12.9 [39-94]	69.28 ± 13.1 [39-94]	67.0 ± 12.6 [42-92]	0.341 ^{a)}
男性	41 (25.8)	29 (24.4)	11 (26.8)	0.834 ^{b)}
主介護者である	144 (90.6)	108 (90.8)	35 (85.4)	0.733 ^{b)}
利用者との関係性				0.622 ^{b)}
実の息子・娘	74 (46.5)	54 (45.4)	20 (50.0)	
配偶者	66 (41.5)	51 (42.9)	15 (37.5)	
義理の息子・娘	14 (8.8)	12 (10.1)	2 (5.0)	
無回答	3 (1.9)	1 (0.8)	2 (5.0)	
その他	2 (1.3)	1 (0.8)	1 (2.5)	
就業状況				0.015 ^{b)}
現在就労なし、または休職中	99 (62.3)	78 (65.5)	21 (52.5)	
パートタイム	20 (12.6)	14 (11.8)	6 (15.0)	
フルタイム	19 (11.9)	10 (8.4)	9 (22.5)	
自営業	14 (8.8)	13 (10.9)	1 (2.5)	
無回答	7 (4.4)	4 (3.4)	3 (7.5)	
暮らし向き				0.284 ^{c)}
大変ゆとりがある	5 (3.1)	4 (3.4)	1 (2.5)	
ややゆとりがある	27 (17.0)	17 (14.3)	10 (25.0)	
普通	98 (61.6)	75 (63.0)	23 (57.5)	
やや苦しい	21 (13.2)	18 (15.1)	3 (7.5)	
大変苦しい	4 (2.5)	4 (3.4)	0 (0.0)	
無回答	4 (2.5)	1 (0.8)	3 (7.5)	

Note. a) 独利したサンプルのT検定, b) カイ二乗検定, c) マンホイットニーのU検定

表10. 利用者の主観的満足

	全体 n = 171		訪問看護利用者群 n = 137		訪問看護非利用者群 n = 34		p 値 a)
	平均 ± 標準偏差 [範囲]		平均 ± 標準偏差 [範囲]		平均 ± 標準偏差 [範囲]		
1. 今の生活に満足している	6.9 ± 2.3	[1-10]	6.9 ± 2.3	[1-10]	7.0 ± 2.3	[3-10]	0.731
2. 安心して生活している	7.3 ± 2.5	[0-10]	7.3 ± 2.5	[0-10]	7.4 ± 2.7	[1-10]	0.864
3. 痛みや不快感なく過ごせている	6.4 ± 2.9	[0-10]	6.4 ± 2.8	[0-10]	6.2 ± 3.5	[0-10]	0.622
4. 排泄に関して困っている (逆転処理後)	5.4 ± 3.7	[0-10]	5.5 ± 3.7	[0-10]	5.0 ± 3.7	[0-10]	0.509
5. 今の状況で自分の希望する生き方を実現できている	6.3 ± 2.7	[0-10]	6.4 ± 2.7	[0-10]	6.1 ± 2.6	[2-10]	0.564

Note. 各項目「全くそう思わない (0点)」から「大変そう思う (10点)」で回答を得た, 得点が高いほど、満足感が高いことを示す, 「4. 排泄に関して困っている」は逆転項目であり、得点が高いほど排泄に関して困っていないことを示す, 回答欠損は除外した, a) 独立したサンプルの T 検定

表11. 利用者の客観的QOL

	全体 n = 219		訪問看護利用者群 n = 174		訪問看護非利用者群 n = 45		p 値
	n(%) / 平均 ± 標準偏差 [範囲]		n(%) / 平均 ± 標準偏差 [範囲]		n(%) / 平均 ± 標準偏差 [範囲]		
評価者							0.818 ^{a)}
家族	86 (39.3)		67 (38.5)		19 (42.2)		
訪問看護師または介護支援専門員	81 (37.0)		66 (37.9)		15 (33.3)		
無回答	52 (23.7)		41 (23.6)		11 (24.4)		
1. 楽しそうである	2.9 ± 0.9	[1-4]	2.8 ± 0.9	[1-4]	3.1 ± 0.8	[1-4]	0.023^{b)}
2. 食事を楽しんでいる	3.2 ± 1.0	[1-4]	2.8 ± 1.0	[1-4]	3.2 ± 0.8	[1-4]	0.032^{b)}
3. 身内や知り合いに会うとうれしそう	3.3 ± 0.9	[1-4]	3.2 ± 1.0	[1-4]	3.5 ± 0.8	[1-4]	0.085 ^{b)}
4. 周りの人が活動するのを見て楽しんでいる	2.7 ± 1.0	[1-4]	2.6 ± 1.1	[1-4]	3.1 ± 0.8	[1-4]	< .001^{b)}
5. 自分から人に話しかける	3.0 ± 1.0	[1-4]	2.9 ± 1.0	[1-4]	3.3 ± 1.0	[1-4]	0.048^{b)}
6. 仕事やレク活動について話す	2.2 ± 1.1	[1-4]	2.1 ± 1.1	[1-4]	2.5 ± 1.2	[1-4]	0.041^{b)}
7. 怒りっぽい (逆転後)	3.2 ± 1.0	[1-4]	3.2 ± 1.0	[1-4]	3.2 ± 1.1	[1-4]	0.624 ^{b)}
8. 物を乱暴に扱う (逆転後)	3.8 ± 0.6	[1-4]	3.8 ± 0.5	[1-4]	3.7 ± 0.6	[2-4]	0.291 ^{b)}
9. 大声で叫んだりする (逆転後)	3.6 ± 0.8	[1-4]	3.6 ± 0.8	[1-4]	3.5 ± 0.8	[1-4]	0.505 ^{b)}
合計得点	27.4 ± 5.2	[11-36]	27.0 ± 5.2	[12-36]	29.0 ± 5.0	[11-36]	0.026^{b)}

Note. 各項目「見られない (1点)」から「よく見られる (4点)」で回答を得た, 全9項目の合計得点範囲は9 - 36点, 得点が高いほど、利用者の客観的QOL評価が高いことを示す, 「7. 怒りっぽい」「8. 物を乱暴に扱う」「9. 大声で叫んだりする」は逆転項目であり、得点が高いほど「怒りっぽくない」「物を乱暴に扱っていない」「大声で叫んでいない」ことを示す, 回答欠損は除外、1つでも欠損があった場合は合計得点の算出から除外した, a) カイ二乗検定, b) 独立したサンプルの T 検定

表12. 家族の安心感

	全体 n = 155		訪問看護利用者群 n = 115		訪問看護非利用者群 n = 40		p 値 a)
	平均 ± 標準偏差 [範囲]		平均 ± 標準偏差 [範囲]		平均 ± 標準偏差 [範囲]		
療養者の受けている治療や支援に安心している	4.4 ± 0.8	[1-5]	4.3 ± 0.9	[1-5]	4.4 ± 0.8	[2-5]	0.804
療養者はあまり苦痛を感じないで過ごせている	4.0 ± 1.0	[1-5]	3.9 ± 1.0	[1-5]	4.1 ± 1.0	[2-5]	0.454
私の心配事には十分に対処してもらえている	4.1 ± 1.0	[1-5]	4.1 ± 1.0	[1-5]	4.0 ± 1.0	[2-5]	0.380
色々なサービスがあるので安心だ	4.4 ± 0.8	[2-5]	4.4 ± 0.8	[2-5]	4.3 ± 0.9	[2-5]	0.488
安心して自宅で療養できる	4.1 ± 1.0	[1-5]	4.1 ± 1.0	[1-5]	3.9 ± 1.0	[1-5]	0.143
合計得点	20.8 ± 3.4	[10-25]	20.9 ± 3.6	[10-25]	20.6 ± 3.0	[15-25]	0.562

Note. 各項目「全くそう思わない (1点)」から「大変そう思う (5点)」で回答を得た, 全5項目の合計得点範囲は5 - 25点, 得点が高いほど、利用者の療養生活における家族の安心感が高いことを示す, 回答欠損は除外、1つでも欠損があった場合は合計得点の算出から除外した, a) 独立したサンプルの T 検定